

2023.3.20 理事会承認
2023.3.30 評議員会承認

令和5(2023)年度

事業計画書

社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会

社会福祉法人 恩賜 財団 東京都同胞援護会憲章（同援憲章）

－ 同援憲章 －

同胞援護会は、敗戦後まもなく戦時下の軍人援護会と戦災援護会の合併を機に全国組織として、日本の社会事業発展を目指して誕生しました。

やがて全国支部組織から独立し、東京都同胞援護会として、戦後の復興事業から新しい社会福祉を目標として生まれ変わりました。

発足において同胞援護会は、「同胞愛」、「四海皆兄弟」、「助け合い」の言葉を基本理念に掲げました。戦後の荒廃した社会にあつて、何よりも国民の復興に向けた精神のよりどころを高く標榜したものでした。

同胞援護会は、戦後の混乱期から幾多の時代の変遷にあつても、変わることなく社会福祉の道を、多くの人々とともに歩んできました。

この精神は現在もなお同胞援護会の理念として、強く受け継がれているものであります。

いずれの時代にあつても福祉は普遍的なものであり、私たちは常に地域の皆様とともに、基本的人権の思想を何よりも尊重し、真の福祉を目指して迷うことなく進んでまいります。

東京都同胞援護会は、これからもこの崇高な理念を基本にして、福祉社会の恵沢を、全ての人々とわかちあうために努めていきます。

－ 基本理念 －

- 1 個人の尊厳をまもり、利用者の意向を十分に尊重いたします。
- 2 利用者の心身の健全と、一人ひとりに応じた自立を支援いたします。
- 3 地域の皆さんと一緒に福祉のまちづくりに努めます。

－ 基本方針 －

- 1 利用者の立場に立ってサービスを考えます。
- 2 利用者のため質の高いサービスを提供します。
- 3 笑顔と挨拶と礼儀を大切にします。
- 4 透明で開かれた施設を目指します。
- 5 健全な施設経営を目指します。

目次

I	2023年度 事業計画	1
	1. 本会の経営における2023年度の重点項目	2
	2. 中長期計画の行動指針に基づく2023年度の重点項目	2
	3. 2023年度の主要な施設整備計画	4
	4. 2023年度 運営施設(事業)一覧	6
II	事業 経営	8
	1. 保育支援系施設の経営	8
	2. 高齢者支援系施設の経営	20
	3. 障害者支援系施設の経営	40
	4. 児童・女性支援系施設の経営	50
	5. 医療事業施設の経営	57
	6. 収益事業の経営	60
	7. 社会貢献事業	61
	8. 人材育成事業	62
III	職員福利厚生制度ならびに職員研修制度	63
IV	評議員会及び理事会	68
V	事務局主要業務	69
VI	施設長会及び各種委員会	70

I 2023年度 事業計画

我が国の令和5年度政府社会保障関係予算は、対前年度比1.7%増(6,154億円増)の36兆8,889億円となり、一般会計歳出額114兆3,812億円の32.3%を占めています。岸田首相は、昨年の出生数が80万人を割り込む見通しの中「異次元の少子化対策に挑戦する」としており、当面この4月に発足する「子ども家庭庁」に4兆8,104億円を措置しています。

一方で、東京都の福祉・保健分野の歳出予算は、018サポート(18歳以下に月5,000円給付)や第二子の保育料無償化の開始、出産・子育て応援事業の拡大などにより、コロナ対策経費を除くと対前年度比14.5%増(1,949億円増)の1兆3,435億円となり、歳出予算全体の24.5%を占めています。

本会としては上記の情勢を踏まえ、中長期計画に添って魅力ある未来をつくるための「持続的成長」を目指した経営を行うとともに、地域に根差した事業の着実な継続や社会貢献活動に取り組んでまいります。事業実施にあたりましては、引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、利用者の安全・安心を確保するとともに、物価高騰を見据えた予算編成をおこない利用者の立場に立った質の高いサービスを提供いたします。また、安定した財務基盤の強化、サービスの担い手である人材の確保と育成を重点目標にいたします。

まず子ども関連ですが、保育事業については5か所の区市に展開する10園の保育園が、地域社会の子育ての拠点となり育児困難家庭に対する積極的な支援に取り組むことをはじめ、障がい児や医療的ケア児の受入れなど、各地域の多様なニーズに応える保育サービスを提供してまいります。保育支援系グループが目指す「子どもの持っている自ら育つ力を引き出し、伸ばす保育」「子ども一人ひとりの気持ちに寄り添った応答的保育」「子どもの興味関心に合わせ、様々な実体験を通した心を動かす保育」を実践してまいります。

また、児童女性支援系グループにおいては、施設養護もできる限り家庭的な養育環境の形態に近づけるといふ時代の流れに沿って、児童養護施設双葉園における小規模化及び家庭的養護の推進を実現していくために、新規グループホーム開設に着手します。

一方、女性自立支援施設いこいの家では、令和6年4月1日施行の困難な問題を抱える女性への支援に関する法律に的確に対応できるよう事業展開を図ってまいります。

次に、財務基盤の強化については、電気・ガス料金の高騰と物価高に対し、業務委託の見直しなど具体的な経費の削減に努めるとともに、本会を支える収益事業についても事業局による新規顧客の開拓をはじめ、不動産賃貸事業の適正な管理や確実な資産運用に努め、財務基盤の長期安定を図ってまいります。

福祉人材の育成と職場環境の整備については、高齢社会に対応した働き方改革を実現するため、令和10年4月より定年を65歳とする「定年年齢引き上げ移行に関する取扱規程」を制定するとともに、現行の再雇用職員の待遇を段階的に引き上げて「同一労働同一賃金」を目指します。また職員が職場内で互いに一人ひとりの人格を尊重し合うことで、「心理的安全性」が高く職員自らが成長できる職場となるように、管理職に対しても職場環境の改善及び適切な組織マネジメントを行うための継続的な研修を実施してまいります。

昭島病院については、MRIを始めとした医療機器を更新し医療サービスの向上に努めます。地域の医療需要の変化への対応として、地域包括ケア病床増床のための病棟の再編をはじめ、本格的な地域への訪問診療の開始や365日リハビリテーション体制の構築に取り組んでまいります。更にはオンライン診療の実施についても検討するなど地域医療の中核的な役割を果たしてまいります。

一方、築後40年以上が経過し老朽化した養護老人ホーム万世敬老園は、措置入所者の減少がとまらず建替えのための財源確保も困難なため事業継続が難しくなっており、今後は抜本的な対応を行う必要があります。

このような厳しい現状の中にあっても本年度も役職員一丸となり、利用者の皆様や地域の方々から信頼される法人であり続けるために精進してまいります。

2023年4月1日

社会福祉法人 恩賜財団東京都同胞援護会
理事長 飯山 幸雄

1. 本会の経営における2023年度の重点項目

- ・事業の着実な継続
- ・利用者の立場に立った質の高いサービスの提供
- ・安定した財務基盤の確立
- ・人材の確保と育成
- ・経営組織体制の強化
- ・社会貢献活動への取組み

2. 中長期計画の行動指針に基づく2023年度の重点項目

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を講じるとともに、状況に応じて利用者の安全・安心を確保しながら利用者の立場に立った質の高いサービスを提供します。
- ・昭和郷地区については、地域包括ケアシステムの充実を目的として、地域医療機関、介護事業所、行政機関と連携し、急性期医療から在宅・介護支援まで切れ目のないサービスを提供します。
- ・老朽化した施設の移転改築計画の具体化を進め、活動基盤の強化を図ります。
(ニューフジホーム:改築を基本とする再整備計画の推進、万世敬老園:中長期計画の見直し)
- ・高齢支援系グループにおける給食業務委託については、経営を圧迫しつつあるため早急に見直しを行います。
- ・杉並区内に開設予定の新規施設について、東京都・杉並区と連携して計画を推進します。
- ・デジタル機器、ロボット介護機器等、ICTの活用を通してサービスの質の向上を図ります。
- ・児童女性支援系グループにおいては、施設養護における家庭的な養育環境の実践拡大に向け新規グループホーム開設に着手します。

ー 生活環境・利用環境向上の取組み ー

- ・見守りカメラ設置(保育所)
- ・空調設備整備(昭島病院、小茂根福祉園)
- ・特殊浴槽設置、浴室改修(特別養護老人ホームニューフジホーム・原町ホーム、婦人保護施設いこいの家)
- ・エレベーター改修(母子生活支援施設サンライズ万世)
- ・壁床張替(障害者支援施設さやま園他)
- ・土地賃貸借契約更新(特別養護老人ホームゆたか苑)

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

ー 生産性の向上に向けた職場環境の見直し ー

- ・職員の有する能力を最大限発揮させるため、管理職等に対して継続的な研修を行い、組織マネジメント力を高めます。
- ・本会のシステムサーバの更新にともない、新しい給与計算システムを導入します。
- ・社会保険手続等の電子申請を積極的に活用します。

ー 給与規程の見直し ー

- ・「定年年齢引き上げ移行に関する取扱規程」を制定し、65歳定年への移行準備を始めます。
- ・臨時職員との待遇差を明確化し、同一労働・同一賃金を目指します。
- ・賞与の支給時期を変更し年3回とするとともに、各グループの状況に応じた職員処遇改善手当の支給を行います。

－ 人事考課の見直し －

- ・人事考課期間を「年単位」から「年度単位」へ変更します。
- ・2か年にわたり、考課者を対象とした研修を継続的に実施します。

－ 福祉人材の確保 －

- ・都外での採用説明会及び採用試験を実施します。
- ・対面式の就職説明会からウェブ上での説明会へシフトするため、求人説明動画を新たに製作します。ホームページ、動画サイトを活用するだけでなく、各種養成校に対してもオンラインで説明会を行います。
- ・外国人、障害者及び高齢者の雇用拡大に取り組みます。

－ 人材の育成 －

- ・管理職員の組織マネジメント力を高め、職員の能力を最大限発揮させます。
- ・専門的技術の習得及び習熟ならびに利用者の人権擁護の徹底を図ります。

－ 人材の定着に向けた取組み －

- ・各種ハラスメントがない職場を目指します。
- ・非正規職員の正規雇用転換を積極的に進めます。
- ・安全衛生方針に基づき、職員の災害を防止する取組みを行います。
- ・男性の育児休業を促進します。

◆ 法人組織・マネジメント強化

－ ガバナンスの強化・コンプライアンスの徹底 －

- 法人の施設が、事業運営上遵守しなければならない法令及び基準等を正確に理解し、適正な事業執行管理を継続して行えるよう、内部検査体制の強化を図ります。そのために、チェック項目の見直しを進めます。

－ 危機管理体制の強化 －

- ・施設における感染症予防対策として、衛生管理を徹底できるよう各施設と連携して強化します。
- ・新型コロナウイルス感染症及び防犯体制整備を含む、実効性のある事業継続計画(BCP)の策定及び見直しを行い、計画に基づく訓練を通して強化を図ります。
- ・感染症クラスター発生時及び災害時には緊急対応対策室を立ち上げ、各グループと連携しながらリスクの拡大を防ぎます。

－ 財務規律の強化 －

- ・実績に応じた予算を作成し月次予算による厳格な執行管理を行い、法人全体の財務基盤の強化を図ります。
- ・法人のスケールメリットを活かした運営費の弾力運用を行い、財務基盤の強化(施設整備財源確保や運用等)を図ります。
- ・特別養護老人ホームの収支改善(人員配置・稼働率・加算取得・経費削減)に取り組みます。
- ・業務委託を含む固定費の見直しを行います。
- ・事務用品や日用品などの物品調達の一元化や光熱水費の契約先変更などを適時適切に行い、コスト削減に努めます。
- ・収益性の高い集合住宅賃貸事業の安定的な経営を行い財務基盤の強化を目指します。
- ・物価高に備え収益事業の収益率向上に努めます。
- ・電子帳簿保存法やインボイス制度に対応します。

－ 情報発信の取組み －

- ・魅力ある広報のあり方の検討を通じて、本会のブランディングの推進を図ります。
- ・保育支援系グループにおいては、ホームページのバージョンアップを行い発信力を強化します。

3. 2023年度の主要な施設整備計画（10,000千円を超える計画）

- ・ 昭島病院「MRIほか医療機器入替／空調設備整備」

目的： 耐用年数到来のため機器の入替を行う。また補修部品の供給が終了するため空調設備を更新し、療養環境と職場環境の整備を行う。

時期： 4～10月

金額： 無影灯×2 19,987千円

超電導磁気共鳴画像診断装置(MRI) 109,715千円

内視鏡カメラシステム 21,281千円

空調設備整備 53,033千円

財源： 当期収入(医療事業収入)／借入金／施設整備積立金／

先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金(空調設備／9,033千円)

- ・ 原町ホーム「特殊浴槽入替」

目的： 老朽化に伴い機器の入替を行う。より安全で快適な入浴サービスを提供するため整備を行う。

時期： 7～9月

金額： 10,714千円

財源： 当期収入(介護事業収入)

- ・ 全体「基幹システム更新」

目的： 耐用年数到来のためシステム環境を更新する。法人機能を維持するとともにリスクに備えた運営管理を行う。

時期： 7～9月

金額： 103,080千円(本体サーバ／ソフト:会計、人事・給与、勤怠、電子申請、文書管理)

財源： 拠点按分

- ・ ゆたか苑「土地賃借契約更新(30年)」

目的： 契約期間満了(R6.3.29)のため更新する。継続して地域の福祉に貢献する。

時期： 1～3月

金額： 39,000千円

財源： 繰入金収入(本部より)

・小茂根福祉園「空調設備ほか整備(板橋区事業)」

目的： 民営化に伴う建替え時期が未定のため、今後5～6年を見据え事業継続に必要な設備の更新を行う。

時期： 4～7月

金額： 31,475千円

財源： 板橋区の負担により実施する

4. 令和5(2023)年度 運営施設(事業)一覧

グループ名	種別	施設名	定員	職員数				
				正規職員	契約	非常勤	合計	
保育支援系施設	保育所	むさしの保育園	169					
		本園	140	36	1	20	57	
		方南分園	29					
		昭和郷保育園	100					20
		大山保育園	130	26	0	21	47	
		昭和郷第二保育園	190	32	4	23	59	
		みなと保育園	63	16	2	8	26	
		同援みどり保育園	125	26	3	16	45	
		つつじが丘保育園	110	25	0	21	46	
		同援さくら保育園	108	24	1	20	45	
		同援はいじま保育園	50	11	2	12	25	
	同援いぐさ保育園	60	12	0	8	20		
	保育施設設計		1,105	228	18	163	409	
高齢者支援系施設	救護施設	昭島荘	100	33	7	9	49	
	養護老人ホーム	万世敬老園	120	12	7	11	30	
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	11	4	7	22	
		小計		270	56	18	27	101
	特別養護老人ホーム	フジホーム		100	37	6	21	64
		ニューフジホーム		100	43	4	19	66
		原町ホーム		50	21	5	10	36
		ゆたか苑		50	25	0	10	35
		ひかり苑		50	19	11	11	41
		小計(介護施設)		350	145	26	71	242
	短期入所生活介護(予防)事業	フジホーム	(6)	4	—	—	—	—
		ニューフジホーム	(6)	4	—	—	—	—
		原町ホーム	(4)	2	—	—	—	—
		ゆたか苑	(4)	4	—	—	—	—
		ひかり苑	(5)	4	—	—	—	—
	認知症対応型老人共同生活援助事業(グループホーム)	グループホームかえで		18	2	4	13	19
		原町グループホーム		18	7	2	8	17
	通所介護(予防)事業	フジ・デイサービスセンター		25	2	0	9	11
		東大和市ふれあいデイセンターひかり苑		12	1	3	2	6
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター		—	10	1	0	11
		昭島市中部地域包括支援センターあいぼっく		—	3	0	4	7
	居宅介護支援事業所	フジホーム		—	3	1	1	5
		原町ホーム		—	2	0	0	2
		ゆたか苑		—	2	0	0	2
	小規模多機能型居宅介護事業	原町小規模多機能居宅介護センター		25	5	0	9	14
		昭和郷小規模多機能居宅介護センター		25	3	5	7	15
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	昭和郷訪問介護センター		—	4	4	2	10
	小計(介護在宅)		141	44	20	55	119	
公益事業	フジホーム診療所		—	—	—	—	—	
	介護職員初任者研修事業		—	—	—	—	—	
	さくらガーデン(サービス付き高齢者向け住宅)		49	1	0	11	12	
	高齢者施設設計		810	246	64	164	474	

グループ名	種別	施設名		定員	職員数				
					正規職員	契約	非常勤	合計	
障害者支援施設	障害者支援施設（入所）	さやま園	施設入所支援	96	100	66	17	42	125
			生活介護	(96)					
			短期入所	4					
		小茂根福祉園	生活介護	40	70	31	3	2	36
			就労継続支援B	30					
		立川福祉作業所	生活介護	30	80	11	4	16	31
			就労継続支援B	44					
			就労移行支援	6					
		東村山生活実習所	生活介護	30	40	12	7	10	29
			就労継続支援B	10					
	短期入所		2						
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ		-	16	0	5	21	
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター		-	22	1	5	28	
	共同生活援助事業 *1 (知的障害者グループホーム)	アミニティ富士見		6	-	(1)	-	-	
		グリーンハイツ		6	-	(1)	-	-	
		フレンズ・モエ		4	-	(1)	-	-	
		パル		6	-	(1)	-	-	
		それいゆ小川		7	-	(2)	-	-	
		ファーム竹丘1		6	-	(2)	-	-	
		ファーム竹丘2		7	-	(1)	-	-	
		風のね		10	1	2	5	8	
		レチオンス巣鴨		4	-	(1)	-	-	
		はなみずき		4	-	(1)	-	-	
		ユーカリ		4	-	(1)	-	-	
		夢オハナ		6	-	(1)	-	-	
		結オハナ		6	-	(1)	-	-	
	特定相談支援事業	さやま園		-	2(兼務)	-	-	-	
立川福祉作業所			-	2(兼務)	-	-	-		
さくらんぼ			-	1(兼務)	-	-	-		
公益事業	豊島区西部障害支援センター		-	3	0	3	6		
	豊島区東部障害支援センター		-	2	0	2	4		
障害者施設計			368	164	34	90	288		
児童・女性支援施設	母子生活支援施設（世帯）	サンライズ武蔵野		(20)	10	3	5	18	
		緊急一時保護		(1)					
		サンライズ万世		(20)					
		緊急一時保護		(2)					
	児童養護施設	双葉園		38	43	4	5	52	
		地域小規模「高嶋の家」		6	6	0	0	6	
		地域小規模「くすのき」		6	6	0	0	6	
		昭島市子ども トワイライトステイ事業		2	0	0	1	1	
	婦人保護施設	いこいの家		40	12	0	0	12	
	児童厚生施設	昭島市児童センターばれっと		-	1	2	11	14	
児童・女性施設計			92 (43)	89	10	25	124		
施設合計			2,375 (43)	727	126	442	1,295		
医療	病院	昭島病院		199	220	16	120	356	
	訪問看護	昭島病院訪問看護ステーション		-	4	0	3	7	
収益	印刷	事業局		-	14	1	0	15	
	不動産賃貸 *2	不動産賃貸事業		-	-	-	-	-	
	駐車場	病院駐車場		-	-	-	-	-	
合計			2,574 (43)	965	143	565	1,673		

*1 共同生活援助事業の職員数は委託事業のため職員数には含まない。()内の職員数は、委託職員数。
なお、計画作成担当者はバックアップ施設の職員が兼務する。

*2 南青山集合住宅賃貸業含む。

Ⅱ 事業経営

1. 保育支援系施設の経営

認可保育所を経営します。

1 グループ方針

・社会福祉法人としての責務を果たすため、法人の中長期計画の方針に沿って施設運営を行います。
・保育園に関わるすべての人の安全と安心を基本とし、新型コロナウイルス感染予防を行いながら、子ども達の可能性と未来を広げられる環境づくりに努めます。
・様々な機関、組織と連携・協働を進め、地域社会の子育て支援の拠点としての保育園の役割を果たしていきます。
・SDGs「持続可能な開発目標」に目を向け、各園の状況に合わせて取り組みます。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

・理念、方針及び同援保育グループが目指す保育を全職員で共有し、保育の質の向上を目指します。
・子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開するために、職員に対する倫理教育を充実させ、子どもの生きる力を育てます。
・利用者の安全・安心を守るために事業継続計画(BCP)・安全計画等の訓練実施と見直しを行い、実効性を高めていきます。
・子どもたちの健やかな成長のために、不適切保育の防止、児童虐待の予防・早期発見・早期対応に努めます。
・保育システムを活用し、利用者の連絡ツールとしてアプリを使用し保護者満足を得られるサービスを提供します。

◆ 地域社会への取組み

・地域社会の子育て支援の拠点として、各地域で多様なニーズに応える取組みを展開します。
・障がい児や医療的ケア児の受入れ、育児困難家庭への支援など積極的な取組みをします。
・様々な広報活動を通じ、育児相談・育児講座を実施し、子育て支援の充実を図ります。またホームページを整備し、地域へのPRや採用活動に活用します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・「目指す保育・職員像」の実現に向けて、職員間で園内研修を深めていきます。
・グループ内交流や職場アンケートを充実させ、職員の声に耳を傾け、働きやすさ・働き甲斐につなげます。また心理的安全性を確保し、人を大切にする職場づくりを目指します。
・職員育成計画に基づいた研修の充実、キャリアに合わせた資格・認定を職能要件として明確にし、計画的なキャリアアップにつなげます。
・実習生への積極的なアプローチや職場体験の充実を図り、新規採用者につなげられるよう努めます。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

・安定運営のために、省エネ対策や経費削減に努めます。また適切な職員配置を行います。
・待機児童減少による定員未充足や公定価格の減額等のリスクに備えた施設運営の見直しをします。
・同援いぐさ保育園の運営も含めたグループの連携を強化し、安定した運営に向けて取り組んでいきます。
・各保育園の特色ある保育を明確にし、保育の質の向上を目指し園の利用につなげます。

令和5(2023)年度 事業計画 (保育所)

施設名 **むさしの保育園**

定員 **169** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
98.1%	98.7%	97.7%	98.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

・「気持ちに寄り添いみんな笑顔」を合言葉に意欲的・主体的に活動できる環境を提供していきます。
 ・子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開するために職員に対する倫理教育を園内外で充実させるとともに、振り返りの場を設けることで、子どもの生きる力を育みます。
 ・子どもたちの健やかな成長のために、風通しの良い職場作りを通して不適切保育を防止し、児童虐待の予防・早期発見・早期対応に努めます。
 ・安全計画、事業継続計画(BCP)に基づき、訓練、見直しを体系化し、また見守りカメラを設置することで利用者の安全・安心を守ります。
 ・保育システムを活用し、子どもの育ちを共有し情報公開することで、保護者と相互理解を高め「ともそだて」をします。

◆ 地域社会への取組み

・障がい児の受け入れや育児困難家庭への積極的な取組みとして、地域のさまざまな組織と連携・協働を図ります。
 ・ホームページをバージョンアップし、園の活動や子育てに関する情報提供を行い、地域に開かれた保育園としてアピールを強めます。
 ・保育の専門性を活かし、一時保育・子育て相談・育児講座等を実施し、子育て支援の充実を図ります。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・「目指す保育・職員像」の実現に向けて、園内研修の充実を図ります。
 ・職場環境の課題を明確化し、人を大切にする心理的安全性が高い職場づくりに努めます。
 ・職員育成計画に基づき、職員が自発的にスキルアップに努められるよう体制を整えます。
 ・職場体験や実習生の受け入れを積極的に行い、SNSで保育の楽しさを発信し、人材確保に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・リスクに備え、業務の見直しや経費削減に努め、適切な職員配置を行います。
 ・職員一人ひとりが資源をつかう責任を自覚し、保育の中でSDGsに取り組みます。
 ・特色のある保育を明確化し、園全体で取り組み、園の利用につなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
園庭水道修繕工事	1,676	見守りカメラ設置	2,364				
分園Wi-fi設置	547						
温水シャワー設置	792						
購入等合計	3,015	購入等合計	2,364	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画 (保育所)

施設名 昭和郷保育園

定員 100 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
117.0%	113.8%	116.3%	114.6%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・同援保育グループで掲げた「目指す保育」を職員で共有し実践していきます。
- ・ガチャポンプを移設し、水や自然の中で子どもたちが十分に遊びこめるような園庭作りをします。
- ・子どもの人権や主体性を尊重しながら、養護と教育を一体化とした質の高い保育を提供し、子どもの生きる力を育てます。幼児クラスは、子どもの自主性、主体性を尊重し、子ども自らがやりたい活動を選択する保育を実践します。乳児クラスは一人ひとりの成長発達に合わせ、愛情に育まれた保育を実践します。
- ・事業継続計画(BCP)・安全計画の見直しを図るとともに、見守りカメラを設置して、不適切保育の防止に全職員で取り組み、安全な環境作りに努めます。
- ・保育システムを利用して保育の様子を保護者に随時お知らせすることで保育の可視化を図り、保育園のPRにつなげます。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭島市の医療的ケア児受け入れの拠点園として、専門機関との連携、協働を通して、保育の専門性を活かした保育の実践、保育所の役割を果たしていきます。
- ・保育所体験や一時保育、園庭開放を通して、保護者が必要とする支援を提供します。地域に根差した保育園となるよう努めます。
- ・病後児保育の充実を図りお父さんが安心して過ごすことができるように努め、保護者も安心して働けるよう支援します。
- ・保育園前庭を園児家族や地域の方、お年寄りも一息つける場所となるよう整備し、憩いの広場となるようにしていきます。
- ・ホームページを丁寧に作成し充実を図ることで、入園や人材の獲得につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・同援保育グループの「目指す保育、目指す職員像」の実践のため、職員が園内外の研修に参加し、学ぶ機会を多く設けます。
- ・職員の人権や個性を尊重し、一人ひとりに合わせた育成を行いながら、職員が生き生きと働きやすい環境作りを目指します。
- ・職員のアイデアを取り入れ、反映させることで職員のやる気につなげます。
- ・各クラスの業務状況を各リーダーが把握し連携を図り、業務の見直しや効率化を進めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した運営に向けて稼働率の維持に努めます。
- ・SDGsの取組みを園全体で行い、経費削減のため省エネに取り組んでいきます。
- ・地域活動事業等への取り組みを通して、補助金の獲得を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
幼児棟壁紙張替工事	1,000	水遊び場移設設置工事	2,585				
		見守りカメラ設置	1,000				
購入等合計	1,000	購入等合計	3,585	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画 (保育所)

施設名 大山保育園

定員 130 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
98.1%	98.0%	98.1%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

・「理念」「方針」「保育グループの目指す保育」を全職員が理解し、保育につなげ、保育の質の向上を図ります。
 ・子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開するために、職員に対する倫理教育を充実させ子どもの生きる力を育てます。また自ら選択し「遊び込める」環境を整えていきます。
 ・乳児期から保育者の愛情豊かな関わりを通して、園児一人ひとりと信頼関係の構築に努め自己肯定感を持てるよう支援します。
 ・利用者の安全・安心を守るために感染症対策・災害・緊急時に対する実効性のある事業継続計画(BCP)・安全計画の訓練実施と見直しを行います。また園外、園内に見守りカメラを増設し、更に安全・安心な環境作りに努めます。
 ・保育システムを使用し利用者とのよりスムーズな情報共有に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・障がい児の受け入れや、育児困難家庭への支援に積極的な取り組みます。
 ・子育て支援のニーズが多様化していく中で、関係機関等と連携を図りそれぞれの家庭に合った支援に努めます。
 ・オンラインを活用して子育てに関する情報提供に努め、地域に向けて事業内容の工夫と子育て支援の充実を図るとともに、近隣の子育て世代に保育園を知ってもらえるように努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・保育グループの「目指す保育・職員像」の実現に向け、園内外の研修の充実を図るとともに、多様なサービスが出来る人材を育てます。
 ・職員育成計画に基いた研修の充実、キャリアに合わせた資格認定を技能要件として明確にし、計画的なキャリアアップにつなげます。
 ・職員間でお互いを認め合い、働きがいのある職場環境・働きやすい職場環境を作り、職員の人材確保と定着に努めます。
 ・保育士養成校と連携し、実習生を確保するとともに新規採用につなげるよう努めます。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

・安定した運営のため稼働率の維持に取り組むとともに、職員の適正人数の配置を行います。
 ・待機児童減少による定員未充足や公定価格の減額等のリスクに備えた施設運営の見直しを行います。
 ・資源の節減・節約を心掛け、経費削減に努めます。(SDGs)

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
見守りカメラ設置	1,430						
格子戸工事	566						
購入等合計	1,996	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画 (保育所)

施設名 昭和郷第二保育園

定員 190 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
102.7%	104.2%	104.2%	102.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・理念・方針・保育グループが「目指す保育」を職員間で共有し、保育の質の向上を目指します。
- ・様々な経験・体験を通して子どもの自主性・主体性を育み、園全体で一人ひとりの子どもの健やかな育ちの支援に取り組みます。
- ・不適切な保育の防止・児童虐待の予防・早期発見・早期対応に努めます。また、専門機関との連携に努めます。
- ・利用者の安全・安心を守るために感染症対策の強化、災害に対する実効性のある事業継続計画(BCP)の見直し、安全計画の作成、訓練を実施します。また、豪雨時の園内浸水回避のための工事を行い、安全に保育が行えるように取り組みます。
- ・保育システムを使用し、動画を配信するなど、利用者へのよりスムーズな情報提供に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・定期一時保育、一時保育(一般型)の利用の定着に努めます。
- ・障がい児受け入れや育児困難家庭へのサポートに伴い、積極的に専門分野の学びに努め、専門機関との連携、協働を通して、保育園の役割を果たすとともに保護者に寄り添いながらニーズに合った支援を行います。
- ・身近な題材を中心とした育児講座を動画配信で提供したり、育児相談・保育所体験等、園の取り組みや保育の流れを知ってもらい、入園へつなげられよう努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・「目指す保育・職員像」の実現に向けて、園内研修の充実を図ります。また、積極的にキャリアに合わせた資格・認定の取得ができるよう仕組みを作ります。
- ・職員育成計画に基づき、内外の研修に積極的に参加し、質の向上に努めます。
- ・時間外労働について、縮減の取組みの意識向上と適切な申請を定着させることで、働きやすい職場作りに努めます。(ワークライフバランスの適正化)
- ・実習生の受け入れを積極的に行い、採用につなげられるよう努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した運営を目指し、稼働率の維持に取り組むとともに、経費削減のための省エネに取り組んでいきます。
- ・少子化による0歳児待機児童減少に伴った適正な職員配置に努めます。
- ・乳児は、一人ひとりの生活リズムを大切に、幼児はモンテッソーリ保育を充実させ、一人ひとりの自主性・主体性を育む保育に取り組み、選ばれる保育園を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
雨水処理改修工事	2,750	業務用給湯器交換工事	750	冷凍冷蔵庫	1,681		
購入等合計	2,750	購入等合計	750	購入等合計	1,681	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（保育所）

施設名 **みなと保育園**

定員 **63** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
96.4%	91.6%	83.4%	84.1%

◆ 利用者支援サービスの充実

・「受け止める」をテーマに、子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開するために、職員の倫理教育を充実させ、子どもの生きる力を育てます。
 ・「目指す保育」の確立に向け、「全体的な計画」を基に保育の充実・保育目標の達成に向け学び合います。
 ・少人数で家庭的、職員みんなで保育をしているという温かさを常に持った保育の充実と、地域性を活かした異文化に触れる体験や、遊びながら学べる英語を新たに取り入れ園の特徴としていきます。
 ・子どもたちが安心して過ごせる環境を整え、感染症対策、防災に対して実効性のある事業継続計画(BCP)に見直し、その充実に向けた訓練を実施します。

◆ 地域社会への取り組み

・ホームページを作成し、地域に向けた育児相談、育児講座等の子育て支援の充実を図り、情報を発信し園の利用につなげていけるよう、積極的な広報活動に努めます。
 ・様々な機関、組織との連携・協働を通して地域社会における子育ての拠点としての保育所の役割を果たすとともに、地域に根差した施設運営に努めます。
 ・20年以上続けている地域に人気のある和太鼓指導を継続していきます。
 ・近隣保育園と連携し、子育て支援や子どもたちの就学前の不安軽減に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・「目指す保育・職員像」の実現に向け、職員の質の向上や多様なサービスを提供できる人材の育成を行うために、園内外の研修に積極的に参加します。
 ・職員が働きやすい職場環境を作り、人材の定着に努めます。
 ・職員に対する倫理教育の充実を図ります。
 ・お互いに協力し合いノンコンタクトタイムを取り入れ、効率的で仕事がしやすく働きやすい職場作りを目指します。

◆ 財務基盤の強化に向けた取り組み

・安定した運営を行うために、稼働率の維持と職員の適正配置を行います。物価高騰を見据えた運営に取り組みます。
 ・資源の節約と節減に努めていきます。(SDGs)

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		ホームページ作成	655				
		見守りカメラ設置	236				
購入等合計	0	購入等合計	891	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（保育所）

施設名 同援みどり保育園

定員 125 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
103.5%	104.0%	101.6%	104.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・感染予防対策を行いながら、子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりの成長に応じた適切な養護と教育を行います。また、「保育グループが目指す保育」を達成するために、乳児期は小グループで「丁寧な保育」を行い、幼児期は子どもたちが主体となる保育を実践し「生きる力・心の育ち」を育み、保育の質の向上を目指します。
- ・見守りカメラを導入し、子どもたちが安心して過ごせる生活の場を提供します。また安全計画を策定し、感染症対策や防災・減災、事業継続計画(BCP)の充実に向け災害対応訓練を行っていきます。
- ・利用者の連絡ツールとしてアプリを活用し、保護者と情報共有し子どもたちの育ちを支援していきます。

◆ 地域社会への取組み

- ・オンラインも活用しながら様々な機関、組織との連携・協働を強化し、地域社会の子育ての拠点としての保育所の役割を果たします。また近隣の保育園と連携し、地域の関わりを大切にしていきます。
- ・要支援児の受け入れや、育児困難家庭への積極的な取り組みを行います。また、虐待等心配のある場合も適正な対応を行います。
- ・保育の専門性を活かし、保護者の気持ちを受け止めながら相談、サポートを行います。
- ・ホームページを作成し、地域に向けて開かれた保育園となるよう努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・園内外の研修(オンライン研修等)に積極的に参加し、職員のスキルアップや、保育グループが目指す職員となるよう努めます。また、福祉人材としての倫理教育の強化とともにコンプライアンスも重視します。
- ・人材育成を適切に行うことで安心して働ける職場環境をつくり、職員の定着に努めます。また、働きやすい職場風土を目指し、園全体で更なる改善を行います。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・施設整備計画(園舎の建て替え)に向けて、省エネ対策や経費を削減し財務基盤の強化に努めます。
- ・働き方改革を受けて「労働の質と量」の見直しを行い、効率的に働くとともに適切な職員配置を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
エアコン交換工事	1,276	PC(×3)	789	ホームページ作成	700		
				見守りカメラ設置	2,420		
購入等合計	1,276	購入等合計	789	購入等合計	3,120	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画 (保育所)

施設名 つつじが丘保育園

定員 110 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
112.3%	112.2%	110.9%	110.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・保育所保育指針に沿った「全体的な計画」を基に、子どもの発達に沿った乳児4クラス編成、幼児縦割り保育の中で子ども一人ひとりに合わせた保育を展開します。
- ・グループ内で掲げた「目指す保育」について理解を深め、保護者の保育参加を行い、保育の理解につなげていきます。
- ・様々な実体験を通して、子どもの生きる力・感謝の気持ち・愛情を育てます。
- ・子どもたちの健やかな成長のために、児童虐待の予防・早期発見・早期対応に努めます。
- ・感染症対策にも対応した事業継続計画(BCP)・安全計画に基づく訓練を実施します。
- ・保育システムアプリを更に活用し、保護者によりスムーズに情報共有を図り、利用者サービスに努めます。
- ・SDGsの取り組みを保育の中で継続して行い、理解を深めていきます。

◆ 地域社会への取組み

- ・ICTやオンラインを活用し、様々な機関、組織による連携・協働を強化して、地域社会への子育て支援の拠点としての保育所の役割を果たします。
- ・コロナ禍の中で停止していた地域の高齢者施設や自治会などとの関わりについて、新たな方法を模索し、関わりを持つことで優しさや思いやりの気持ちを育てます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員育成計画に基づき職員の質の向上、多様なサービスを提供できる人材の育成、倫理教育・研修の充実を図ります。
- ・新保育システムアプリに切り替え1年が経過したが、引き続き業務改善を図り、働きやすい職場環境整備を進め、人材の定着に努めます。
- ・職員採用につながるよう、ホームページを新たに作成し、実習生の積極的な受け入れや職場体験、また養成校と情報共有を行い、より良い人材の確保に努めます。
- ・事故やケガの際のトラブルが生じた場合に職員、園を守るために室内に見守りカメラを設置します。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・安定運営のために、省エネ対策や経費削減に努めます。
- ・園児数による適正な職員配置を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
見守りカメラ設置	2,600						
電話工事	1,540						
購入等合計	4,140	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（保育所）

施設名 同援さくら保育園

定員 108 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
102.7%	100.3%	99.4%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権や主体性を尊重しながら保育グループが目指す保育を実践し、子どもの生きる力を育てます。それに伴い、乳児は小グループの保育を実践していきます。
- ・利用者の安全・安心を守るために、あらゆるリスクに対する実効性のある事業継続計画(BCP)、安全計画の訓練実施と見直しを行い実効性を高めていきます。
- ・室内に見守りカメラを設置し不適切保育の防止に努めていきます。
- ・保育システム(アプリ)を有効に使い、利用者に向け情報を発信し、子どもの育ちを共有します。
- ・開園から17年が経ち水漏れがある園児用洗面台を順次交換し、清潔に保てるようにします。また、テラスデッキのメンテナンスも行い安全に過ごせるようにしていきます。

◆ 地域社会への取組み

- ・感染症対策に留意しながら地域に向けて園庭開放・育児講座・一時保育等を通して、遊びの場の提供や子育てへの不安や悩みの解消等、保護者の負担の軽減に努めます。
- ・障がい児や育児困難家庭への支援を行います。
- ・ホームページを整理し、地域へのPRや採用活動につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・保育グループの目指す職員像の実現に向けて、職員間で園内研修を深めていきます。
- ・職員育成計画に基づいた研修の充実、キャリアに合わせた資格・認定を職能要件として明確にし、計画的なキャリアアップにつなげます。
- ・非常勤職員へ向けての園内研修(OJT)を定期的実施し、業務の標準化を図ります。
- ・働きやすい環境や、満足感・安心感のある職場風土を構築していくことで、職員の定着を目指します。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・省エネ対策や経費の削減を行い、財務基盤の強化に努めます。
- ・効率的に働くとともに適切な職員配置を行います。
- ・特別事業や保育内容の特色を明確にすることで園の利用につなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
マグネット掲示板設置	1,781	見守りカメラ設置	1,276	LED化工事	6,345	ホームページ作成	666
乳児洗面台交換工事	3,280			ガステーブル	715		
テラスデッキ塗装	951						
購入等合計	6,012	購入等合計	1,276	購入等合計	7,060	購入等合計	666

令和5(2023)年度 事業計画 (保育所)

施設名 **同援はいじま保育園**

定員 **50** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
112.7%	115.3%	117.5%	116.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・保育グループ「目指す保育」の3項目、本園の特徴的な取り組みについて実践的スキルを高め、利用者満足につなげます。
- ・多様な子どもと大人という事が前提のインクルーシブな保育実施のため園内外研修により職員の知識と技術を深め、関わる人たちの幸せにつなげ、「同援はいじまウェルビーイング」を実現していきます。
- ・BCP(災害・感染症)・安全計画の訓練、実施、見直しを行い、実効性を高めていきます。
- ・保護者の保育への参加を積極的に進めます(保育参加、育児相談、保護者のスキル活用)。
- ・不適切保育防止のためにチェックリスト活用、職員間の連携を強化し、意見を出し合える環境作りを目指します。

◆ 地域社会への取組み

- ・ホームページを活用し、広報活動や地域支援活動を拡充します。
- ・一時保育や育児相談を積極的に受け入れ、育児講座を充実させるなど、地域の中で頼れる保育園になります。
- ・卒園児を中心とした小学生、中高生ボランティアや職場体験・実習生の受け入れを柔軟に行い、保育拠点活動につなげます。
- ・災害時の一時滞在所として機能できるように定期的に訓練を行います。
- ・近隣保育園と連携し、積極的に交流することで、地域に開かれた子育て支援や子どもたちが安心して就学できる環境作りに努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・保育の質、専門性向上を強化するために、多くの職員が受けられるWEB研修を活用し、職員間の意識の共有、統一につなげます。保育充実や利用者対応の園内研修(3つの目指す保育、インクルーシブな保育、子どもを満足させる環境作り)は対話型を重視し、内容をより充実させ人材育成と環境充実につなげます。
- ・人を大切にする働き甲斐のある職場づくりを目指し、職員が個々の得意分野を活かすことで組織力を上げ、その中でお互いを認め合い、やりがいを見つけられることで心理的安全性を確保し、人材の定着に務めます。
- ・研修への積極的参加や自己評価チェックの見直しにより、一人ひとりが専門性を高められる取り組みを行い個々のスキルアップ、全体の保育力アップにつなげます。
- ・保育士育成校と連携をとり、実習生の確保や新規採用につなげます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・適正な職員数、事業費、事務費により、経費の削減を図ります。
- ・地域の中で頼れる存在、選ばれる保育園となり、園児の安定した入所や収入につなげていきます。
- ・職員一人ひとりが地球環境に配慮し、限りある資源を大切に使う意識を高め、経費削減にもつなげます。
- ・保育の中で利用者とともにSDGsの認識を深めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		見守りカメラ設置	380				
購入等合計	0	購入等合計	380	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画 (保育所)

施設名 同援いぐさ保育園

定員 60 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
—	—	44.3%	66.6%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・ホームページを作成し保護者や地域に向けて積極的に園の情報を発信していき、信頼感を築いていくよう努めます。
- ・日々安全・安心な環境を整えるとともに感染症・自然災害・緊急時に備えた対応が出来るよう、事業継続計画(BCP)・安全計画の訓練を実施し見直しを行います。
- ・子どもの気持ちに寄り添い、応答的な関わりを持つことで主体的に様々な遊びや活動が出来るようにしていきます。

◆ 地域社会への取組み

- ・様々な組織との連携・協働を図りながら、地域子育て支援の拠点となるよう、保育所としての役割を果たします。
- ・地域に向けて育児講座や保育所体験等を実施していく中で、入園前から園とのつながりを作り子育て支援をします。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・「目指す保育・職員像」の実現に向けて、園内外の研修を充実し、多様なサービスと質の高い保育を提供できる人材を育成します。
- ・職員一人ひとりが主体的に園を作り上げていき、やりがいにつなげます。
- ・職員同士のコミュニケーションを深め、安全・安心で効率的な働きやすい環境を作ります。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・広報活動を積極的に行い入園につなげることで、稼働率を上げ運営が軌道に乗るよう努めます。
- ・補助金の活用や加算の獲得をしていき、少しでも安定した運営につなげます。
- ・エネルギーや資源に対し、「つかう責任」を自覚し、経費の削減につなげます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		幼児クラス園児ロッカー	545	ホームページ作成	655		
購入等合計	0	購入等合計	545	購入等合計	655	購入等合計	0

2. 高齢者支援系施設の経営

救護施設、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム、その他事業(認知症対応型共同生活介護、通所介護、地域包括支援センター、居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護施設、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、サービス付き高齢者向け住宅)を経営します。

1 グループ方針

- ・社会福祉法人としての責務を果たすため、法人の中長期計画の方針に沿って、グループ運営及び各事業所の運営を行います。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を継続します。感染者発生時は状況に応じてグループ内の協力体制を構築します。
- ・地域・施設でその人らしい生活を送られるように利用者個々に寄り添い、適切な介護サービスや支援を提供します。
- ・各地域の中で、介護・福祉の拠点施設としての役割が果たせるよう、専門性に基づく質の高いサービスの提供に努めるとともに、公益的取組みを推進していきます。
- ・グループおよび各事業所の状況に応じたSDGs「持続可能な開発目標」に関する取組みをします。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・自己決定に基づく日常生活を営むことが出来るように、その人の有する能力に応じた介護サービスや支援を提供します。
- ・新しい介護機器、情報通信技術を活用した介護やサービス支援に取組み、サービスの質の向上を図ります。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対応や防災マニュアル、災害時・感染症発生時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域包括ケア構築のため自治体や地域と協力しながら、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう「介護・医療・福祉」を一体で提供するとともに、地域に合わせた多様なサービスに取り組み開かれた施設を目指します。
- ・地域包括支援センターとの連携や、配食事業等を通じて地域のニーズを把握し対応に努めます。
- ・児童女性支援系グループと連携して子ども学習支援を継続していきます。
- ・地域ニーズに応えるため、緊急時の短期入所受け入れ、介護者教室、認知症カフェ等を推進します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・介護職員の休日日数を見直し、働きやすい職場環境を確立します。
- ・職員確保のため、介護のやりがいや魅力を発信するとともに、実習生に対しては介護の魅力を伝えることで就職へつながるよう働きかけます。
- ・新等級基準に応じた研修・人材育成の取組みに着手します。
- ・介護人材の拡大のため、初任者研修を実施します。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)の実施により安全で働きやすい職場環境(勤務体制)を構築します。
- ・外国人職員採用のため、受け入れ環境の整備を行います。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・目標収支を達成します。目標稼働率達成を確実に行うとともに、状況に応じた計画的支出により、財務状況の安定を図ります。
- ・積極的に加算取得に努めます。
- ・毎月の収支を勘案してグループ会等で人員配置や財務状況を随時検討し、改善策を講じます。

1 救護施設

身体や精神に障害があり、経済的理由も含めて日常生活を送るのが困難な人たちが、健康に安心して生活できるよう、生活扶助、医療扶助を行います。

2 養護老人ホーム

65歳以上であって、環境上の理由及び経済的理由により居宅において継続的な日常生活が困難な方を養護します。

3 軽費老人ホーム

60歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方に利用契約により無料又は低額な料金で、日常生活上必要な便宜を供与します。

4 特別養護老人ホーム

65歳以上であって、心体上又は精神上著しい障害があるため常時介護を必要とし居宅において継続的な日常生活が困難な方を養護します。

5 認知症対応型共同生活介護事業

65歳以上で、認知症であるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、共同生活する住居で入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行います。

6 通所介護事業

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障がある方に、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ります。

7 地域包括支援センター

地元区市からの委託により、高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるように、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的な支援を行います。

8 居宅介護支援事業

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネージャー（介護支援専門員）が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿って、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成したり、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行います。

9 小規模多機能型居宅介護事業

65歳以上で、身体上または精神上の障害があるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、自宅において、またはこのサービスの拠点へ通い、もしくは短期間宿泊することにより、居宅介護及び機能訓練等を提供します。

10 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。
サービスの提供にあたっては、訪問介護員だけでなく看護師などと連携しているため、介護と看護の一体的なサービスを提供します。

11 サービス付き高齢者向け住宅

「高齢者住まい法（厚生労働省・国土交通省所管）」に基づく、高齢者にふさわしいバリアフリー構造等の住まいで、安心して暮らせる見守りサービス（安否確認、生活相談等）を備えた賃貸住宅です。

令和5(2023)年度 事業計画 (救護施設)

施設名	昭島荘
定員	100 名

【地域における施設ミッション】

利用者の権利擁護を遵守して、個別支援計画に基づいた支援を実践します。
地域社会の要請に応えるため、循環型セーフティネット施設の機能を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
96.4%	99.9%	100.5%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- 職員が「最後のセーフティネット施設」を再認識して、主体的に自己実現できる支援を提供します。
- 医学的・科学的な「個別支援計画」を利用者と共に作成して、PDCAサイクルの支援を実践します。
- 安全・安心のため感染症対策・防災マニュアル、災害時の事業継続計画(BCP)を随時更新します。
- 年2回の「モニタリング」により、事業運営・利用者支援の目標達成度合いを評価をします。
- 作業をしている利用者へ導入した「有給休暇」を活用して、良好な心身の体調管理につなげます。

◆ 地域社会への取組み

- 民生委員と年4回の定期懇談会により、地域の生活困窮者等へ自立・就労の支援を充実します。
- 利用者に有益な社会資源を活用するため、地域住民・民生委員等と協力体制の構築を図ります。
- 法務省矯正研修所「高等研修生」受け入れ、研修生への講義提供による相互連携の充実を図ります。
- 地域学習支援活動「ラ・スク」の後方的支援施設として、年12回の昼食提供を継続します。
- SDGs(持続可能な開発目標)の「1. 貧困をなくそう」「11. 住み続けられるまちづくりを」を実践します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- 雇用確保と離職防止のため、介護職員の年間休日日数を見直し、働きやすい職場環境を構築します。
- 専門職としての自覚と自信を持ち、職員一人ひとりが積極的に業務遂行できる組織体制を構築します。
- 「福祉人材養成」のため関係機関へ情報発信して、実習生(社会福祉士・介護福祉士)を受入れます。
- 「働き方改革」を遂行するため、ICT(通信情報技術)を活用して、更なる効率的な業務改善を図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- 収入源である稼働率100%を維持して、収益向上と経費削減を図り安定した財務基盤を構築します。
- 社会福祉法第24条の「経営の原則」に基づき、透明性のある事業経営を実践します。
- 職員の配置状況に則した「サービス推進費加算」「障害者加算」などを効率的に取得します。
- 約10年後の「新築工事」を達成するため、施設整備費の積立と施設機能の在り方を検討します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
建物診断調査	3,410			ガス式食器消毒保管庫(×2)	2,052		
防災倉庫	2,970			車イス対応軽自動車	2,663		
購入等合計	6,380	購入等合計	0	購入等合計	4,715	購入等合計	0

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画 (養護老人ホーム)

施設名 **万世敬老園**

定員 **120** 名
(令和5年4月1日 180名から変更)

【地域における施設ミッション】

養護を必要とした高齢者の自立を支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
92.1%	80.2%	69.7%	92.5%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の主体的な生活を尊重し、安全・安心で健康的な生活を支援します。
- ・感染症対策を行いながら、地域の方と触れ合う機会を作り、心身ともに活性化につながるよう支援します。
- ・防災マニュアル、災害時等における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行い、すべてのリスクに備えます。
- ・関係機関との連携を強化し、利用者の希望や状態に合わせた生活を提供できるよう支援します。

◆ 地域社会への取組み

- ・高齢者の住まいとして、また支援の専門機関としての機能を果たし、地域の課題解決に貢献するとともに地域包括ケアを推進します。
- ・保育園の見守り隊を継続し、地域への貢献を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員が安心して働ける風通しの良い職場環境を構築します。
- ・内外の研修に積極的に参加し、個々の職員のモチベーションアップにつなげ、多様なサービスの出来る福祉人材を育成します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・施設機能を最大限活用し、運営費の確保に努めます。
- ・財務状況を常に把握するとともに、資産の計画的な活用を行い安定的に事業を継続します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画 (軽費老人ホーム)

施設名 **サンホーム**

定員 **50** 名

【地域における施設ミッション】

地域包括ケアが推進される中で、地域連絡会等にも積極的に参加し、地域に根差した拠点づくりを目指します。またサンホームの利用者が地域で暮らす一員としての生活が継続できるよう支援して行きます。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
99.8%	99.7%	99.8%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・福祉施設と高齢者向け住宅との違いを明確にするために、業務を見直し、限られた資源(人材等)を用いて一人でも多くの利用者に質の高いケアを届けます。
- ・業務の明確化と役割分担の見直しにより、ムリ・ムダ・ムラ(3M)を削減し適切な役割分担によりケアの質の向上を目指します。
- ・要介護者の増加やニーズがより多様化していく中においても、常に人権に配慮し、潤いのある生活の場、豊かな生活を継続できるように支援します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、事業継続計画(BCP)の推進と随時見直しに努めます。
- ・利用者の生活の維持向上を目的とし、フレイル予防や施設整備に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・近隣施設との交流、社協等が主催する行事等に積極的に参加することで自施設にとどまることのない幅広い支援を提供します。
- ・地域交流として、対面交流だけでなく、非対面の交流や人との接触を減らした交流など、施設として「何ができるか」を考え実践します。
- ・地域包括支援センターとの連携や、配食事業等を通じて地域のニーズ把握、地域が求める(高齢者)福祉・介護サービスの創設、高齢者の孤立防止に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・イレギュラーな事態がおきた場合でも職員が自身で判断できるよう、組織の理念や行動指針に基づいて、自発的な行動がとれる職員の育成を行います。
- ・支援手順、作業手順を確認し、専門性の高いソーシャルワークに基づく支援が出来るようOJTの仕組みづくりに取り組みます。
- ・4S(整理・整頓・清掃・清潔)の視点で、安全な介護環境と働きやすい職場を整備し、丁寧な動作を心がけ、利用者にも職員にも優しい施設の実現に取り組みます。
- ・ICTの導入を進めオンライン研修等を活用し、日々職務の研鑽に努め、介護と相談の双方の視点を兼ね備えた職員の育成を行います。
- ・職員の年間休日120日取得(1日/8時間勤務)へ向け業務改善を行い、新しい業務体制を創造します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・計画的な支出を推進する一方で、日々の支出を見直し経営の安定化につなげるよう努力します。
- ・配食事業の拡大に努める一方で、費用対効果の分析に努めます。
- ・必要な施設整備を進めるにあたり、取引の実例価格、需給の状況等を考慮し、適切な価格にて実施します。
- ・年間を通して委託業務内容を精査し、持続的成長のためにコストの最適化を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
エアコン交換工事(×5)	571	屋上人工芝張替え	920	食器洗浄機	2,276	エアコン交換工事(×5)	571
電気温水器交換(×4)	585	ホットワゴン	682			電気温水器交換(×4)	585
						リヒートクッカー	1,529
購入等合計	1,156	購入等合計	1,602	購入等合計	2,276	購入等合計	2,685

令和5(2023)年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名	フジホーム		
定員	100	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			6
			名
			名

【地域における施設ミッション】

関係機関と連携し、地域の方に安全・安心を提供できる拠点施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
96.1%	96.4%	96.6%	97.1%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・新型コロナウイルス感染防止に努めながら、利用者の人権に配慮し、その有する能力に応じた自己決定に基づく日常生活を営むことが出来るように介護・支援します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症予防対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)は随時見直しを行います。
- ・看取りケアの更なる充実に向けて利用者への接し方や対応方法などを常に職員全体で考えていくように努めます。
- ・利用者の生活環境の改善のための物品の購入や修繕を行っていきます。

◆ 地域社会への取組み

- ・自治体や地域と協力しながら、介護が必要となっても地域で暮らし続けられるよう介護・医療・福祉を一体で提供するとともに、地域ニーズを把握し、多様なサービスに取り組むなど、開かれた施設を目指します。
- ・昭島病院総合支援センター、地域包括支援センターと連携しながら緊急時の短期入所受け入れや在宅復帰時の調整において短期入所生活介護事業を活用し、地域のネットワークづくりに努めます。
- ・健康と福祉を通じて、取り残されない持続可能な社会づくりを目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・OJTや研修(eラーニング等)を通してサービスの質の向上、現任職員のレベルアップ、育成を行い「介護職員の離職防止」を目指します。
- ・外国人技能実習生を受け入れることで、施設内に限らず国際的な福祉人材の育成に貢献します。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)に継続して取り組み、業務の効率化、バランスの取れた働き方を推進します。
- ・福祉を学ぶ実習生の積極的な受け入れを行い未来の人材の育成、人材の確保に努めます。
- ・福祉現場での効果的なテクノロジーの活用を検証し、導入を検討します。
- ・事故防止に向けて、職員育成に取り組めます。
- ・安定的な雇用確保、離職防止のため介護職員の休日日数を見直し、働きやすい職場環境を確立します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・稼働率向上と加算取得による収入増を目指し、常にコスト削減を意識しながら健全な経営を目指します。
- ・空調設備更新と省エネ推進による水道光熱費削減効果を図ります。
- ・施設整備を計画的に進めるため収支差額の増額を目指します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
車いす(×20)	2,910			ノートPC(×5)	1,315	介護用ベッド(×3)	1,202
購入等合計	2,910	購入等合計	0	購入等合計	1,315	購入等合計	1,202

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名	ニューフジホーム		
定員	100	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			6
			名
			名

【地域における施設ミッション】

地域の住民が老後も安全・安心に暮らし続けられるように、専門的ケアを積極的に地域に還元するとともに、地域の拠点施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
90.5%	88.9%	93.1%	95.1%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者に“丁寧な寄り添う介護”を提供するため、個別ニーズに応じた支援に努めます。
- ・年々進む利用者の重度化に対応するため、個々に合った移乗・移動介助の検討、持ち上げない介護の推進、食事スペースの改善、リクライニング車椅子・電動ベッドの活用などを行います。
- ・看取りの体制整備を促進し、最期まで施設で過ごしていただけるよう病院と連携し、専門的ケアを提供していきます。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時・感染時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。
- ・1階の特殊浴槽を交換し、利用者への快適で安心な入浴の実施に努めます。

◆ 地域社会への取り組み

- ・ホームページのブログをこまめに更新し、地域の方にとって身近な施設となるよう情報提供に努めます。
- ・昭島病院と連携し、地域包括ケア推進に向けて取り組みを行います。(ショートステイ利用等)
- ・アフターコロナを見据え、感染予防を行いながらのボランティアの再開に取り組みます。
- ・地域が求める高齢者福祉、介護サービスの推進に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・出産・育児・介護での離職防止のための体制整備を継続して推進します。
- ・ロボット機器の活用や持ち上げない介護を推進し、職員の体の負担をなくす業務改善を進めます。
- ・新規職員の確保に努めます。職場のOJT体制を検討し、未経験の職員や外国人の職員への研修体制及び受け入れ体制を構築していきます。
- ・タブレットやアプリを活用し、円滑な情報共有を図るとともに、インカムの導入を検討する等、業務の効率化、コミュニケーションの円滑化を進めます。
- ・安定的な雇用確保、離職防止のため介護職員の休日日数を見直し、働きやすい職場環境を確立します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・業務の見直しを進め、適切な人材を確保しつつ、将来を見据えた人材育成に努めます。
- ・数年後の建て替えを視野に、稼働率95.1%を目標に収支の均衡に努めます。
- ・稼働率向上のため、入院者の減少への取り組みの強化、感染症予防対策の充実、感染後の速やかな復旧体制の確立、退所後の速やかな入所、空床のショートステイ利用をさらに進めていきます。
- ・節電・節水に努め、消耗品・日用品は必要性を随時見直し、価格も比較検討し、経費の削減を図ります。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
特殊浴槽	9,317						
購入等合計	9,317	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名	原町ホーム		
定員	50	名	
			短期入所専用
			空床利用
			2
			4
			名
			名

【地域における施設ミッション】

各種事業を備えた地域の拠点として、地域住民が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
101.6%	101.6%	99.9%	99.3%

◆ 利用者支援サービスの充実

・「やさしさを起点とした介護」を実践することで持っている力や希望(ストレングス)を引き出し、その人らしい生活を支援します。
 ・利用者本位の徹底といつも笑顔のあるケアにより利用者にとって安全・安心な施設を目指します。
 ・認知症緩和療法(ハプティックセラピー等)を通して、心にゆとりを持てる豊かな生活を提供します。
 ・特殊浴槽の入れ替えを行い、より安全で快適な入浴サービスを提供します。
 ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取り組み

・地域が求める高齢者福祉・介護サービスをつくります。
 ・福祉避難所協定施設、成城学校避難所運営協議会参加団体として、地域住民や近隣町会とのつながりを強め地域包括ケアの一端を担えるよう役割を果たします。
 ・新宿区内社会福祉法人連絡会加盟法人と連携をとり地域住民のニーズに応えていきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・安定的な雇用確保、離職防止のため介護職員の休日日数を見直し、働きやすい職場環境を確立します。
 ・法令遵守を核とした運営及び利用者サービスの向上を目指し、法人内研修・施設内研修・外部研修等、多角的・重層的に人材育成強化を図ります。
 ・「持ち上げない介護」の実践や見守りセンサー等の活用を推進し、職員負担を減らしながら利用者にとっても安全・安心な介護を進めます。

◆ 財務基盤の強化に向けた取り組み

・収入と支出のバランスのとれた経営基盤をつくり、安定した施設運営を目指します。
 ・安定した稼働を維持できるよう、各セクションの連携を強化します。
 ・ICTの活用や経費の節減を図ります。消耗品、日用品について、その必要性を随時見直します。
 ・各種加算取得状況を見直すとともに、新規取得を図ります。

【施設・設備整備計画】

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		特殊浴槽	10,714				
購入等合計	0	購入等合計	10,714	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名	ゆたか苑		
定員	50	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			4
			名
			名

【地域における施設ミッション】

地域包括ケア構築のため、感染予防に努めながら自治体や地域と協力し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう介護・医療・福祉が一体として提供出来るように取り組みます。また、地域に合わせた多様なサービスに取り組み開かれた施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
95.2%	95.1%	96.0%	97.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・感染症予防対策に留意した面会方法の検討等、利用者・家族の心情に寄り添います。
- ・利用者権利擁護の一環として「不適切ケア」のチェックを行い、虐待防止に努め、接遇向上の取組みを継続します。
- ・認知症対象者や症状緩和ケアが必要な看取り対象者へ、心理的なケアを積極的に行います。
- ・感染予防に努め、個別支援やクラブ活動を検討、創意工夫することで利用者の社会性を維持する支援を行います。
- ・ICT利活用に向けた検討を進め、サービスの質向上を図り、利用者の生活空間が快適なものとなるように整備します。
- ・利用者の安全・安心を守るため、リスクマネジメントの観点から感染症対策や防災マニュアル、事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取り組み

- ・SDGs 17の目標『11.住み続けられるまちづくりを』を念頭に置いた支援に取り組みます。
- ・地域交流事業(体操教室、栄養教室)、ならびに近隣町会との防災応援協定に基づいた車椅子操作等、施設の専門的なケアを地域に還元します。また、地域住民対象のランチ交流会開催を検討する中で、参加者の声に耳を傾け、地域課題解決の一助を担います。
- ・感染症予防に留意しながら地元自治体と協働して地域住民に対して施設を開放することで、施設機能を有効に活用します。
- ・居宅支援事業所を中心に地域包括支援センターとの連携を密にとり、地域包括ケアシステムに寄与します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・喀痰吸引や認知症等の専門研修により実践に必要な知識技術を修得、利用者のニーズに応える支援を行います。
- ・職員がやりがいと希望を持ち続けられる様に育成計画によるスキルアップや人材育成に努めます。
- ・安定的な雇用確保、離職防止のため介護職員の休日日数を見直し、働きやすい職場環境を確立します。
- ・生産年齢人口減少社会到来による人材確保に備え、社会福祉実習生の受入れや外国人人材の育成に努めます。
- ・情報通信技術の利活用、インカム運用等を進め日常業務の見直し、ならびに介護支援ソフト等の既存システムの機能を最大限活用したワークライフバランスを見据えた働き方改革に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・科学的介護情報システム『LIFE』を活用した「LIFE関連加算」の新規取得を目指し、情報収集や体制整備を継続します。
- ・開所より四半期が経過、老朽化した施設設備改修を計画的に進め、コスト削減に努めます。
- ・世界情勢における原材料費高騰の影響により、収支状況や費用対効果を熟慮した施設運営に努めます。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		汚水・雑排水槽ポンプ交換	1,507			土地賃貸借契約更新	39,000
購入等合計	0	購入等合計	1,507	購入等合計	0	購入等合計	39,000

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画 (特別養護老人ホーム)

施設名	ひかり苑		
定員	50	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			5
			名
			名

【地域における施設ミッション】

社会福祉法人としての責務を全うするため、地域の方々や利用者、家族に信頼される施設として、社会的役割を積極的に果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
99.5%	97.5%	98.8%	99.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・法人の理念と方針そして高齢者支援系グループ方針を遵守し業務を遂行します。
- ・利用者の人権を尊重し、自己決定に基づく自立した日常生活が送れるように支援します。
- ・「親切」「丁寧」「誠実」をモットーに、個別ニーズに応じたサービスを提供し、新しい介護機器やICTを活用した介護を実践します。
- ・施設の老朽化に対して、法人中長期計画に基づいて施設整備(屋上床リフォーム等)を行い、快適な居住環境を提供します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しと適切な運用を行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・東村山市富士見町福祉施設連絡会と連携しながら、地域の防犯、防災に向けた「富士見町あいさつ運動」に参加します。
- ・東村山市福祉避難所連絡会に参加して、福祉避難所としての機能強化に向けて、役割を果たせるように取り組んでいきます。
- ・地域包括ケアシステム構築に向けて、自治体や富士見町福祉施設連絡会と連携して福祉のまちづくりに取り組みます。
- ・地域包括支援センター等と連携しながら緊急時の短期入所を積極的に受け入れ、地域に合わせた多様なサービスの拠点を目指します。
- ・地域に求められる(高齢者)福祉・介護サービスをつくります。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員が安心して働ける風通しの良い職場環境を作り、職員の離職を防止して人材の定着と育成に努めます。
- ・介護実習、職場体験等の希望者を積極的に受け入れ、介護のやりがいや魅力を体験してもらい、人材確保につなげます。
- ・新等級基準に応じた研修に参加し、サービスの質の向上、職員のスキルアップを行い計画的な福祉人材育成を進めます。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)の実施と災害の防止に取り組みます。
- ・安定的な雇用確保、離職防止のため介護職員の休日日数を見直し、働きやすい職場環境を確立します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・利用者の「脱水・低栄養の予防」「転倒への危険予測」「安全な環境整備」に重点を置いて、入院者を減らし目標稼働率を達成します。
- ・経営基盤の安定と事業継続を効果的かつ適正に行うために、計画的な支出管理を行います。
- ・健全な経営を行うために、人員配置や財務状況の検討や適切な支出を行い、財務基盤の安定を目指します。
- ・新規利用者の入所をスムーズに行うとともに、短期入所者を積極的に受け入れ目標稼働率(特養ショート合算99%)を達成します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		屋上人工芝張替え	1,220	食器洗浄機	2,276	リヒートクッカー	1,529
購入等合計	0	購入等合計	1,220	購入等合計	2,276	購入等合計	1,529

令和5(2023)年度 事業計画（認知症対応型老人共同生活援助事業）

施設名 **グループホーム かえで**

定員 **18** 名

【地域における施設ミッション】

昭島に住む高齢者が認知症になっても安心して暮らせるように、関係機関と連携しながら地域福祉の拠点施設としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
96.5%	97.6%	94.8%	96.5%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・自立支援の一つとして、買い物、調理、洗濯、掃除などの家事活動に積極的に取り組み、利用者が主体的に生活することができるように支援します。
- ・利用者や家族に必要なかつ適切な情報を適宜提供するとともに、利用者や家族からの苦情に迅速かつ誠意を持って対応します。
- ・第三者評価の受審を通して常にサービスの改善、向上に努め、顧客満足への思いを念頭におき個別化対応に配慮したケアに努めます。
- ・新型コロナウイルス等への感染症対策を徹底して利用者の健康管理に努めます。

◆ 地域社会への取組み

昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、引き続きさくらカフェを運営します。

- ・誰もが集えるカフェを創ります。
- ・飽きの来ないプログラムを提供します。
- ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・時代の変化や多様なニーズに柔軟に対応できる専門職としてのスキルアップを図るためにOJTと並行して積極的にOFF-JTの機会をつくります。
- ・東京都で実施する認知症の研修に参加します。
- ・業務を見直し効率的なサービス提供と働きやすい職場づくりを目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスのとれた経営基盤をつくり、安定した施設運営を目指します。
- ・目標とする施設利用率を達成するために退去等による空床期間の短縮化を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（認知症対応型老人共同生活援助事業）

施設名 原町グループホーム

定員 18 名

【地域における施設ミッション】

地域の方の「新宿で暮らし続けたい」という願いを地域と共に支えます。新宿区の大切な社会資源として地域から必要とされる事業運営を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
97.5%	95.9%	88.9%	94.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者一人ひとりの有する能力を把握し、残存能力を活用しながら、自立支援につながるケアを行っていきます。
- ・認知症の方でも安心して生活できるよう、見守りセンサー等の活用や研修の充実で環境整備を行っていきます。
- ・認知症カフェやハプティックセラピー等を活用し認知症の緩和に努めます。
- ・新型コロナウイルス等の感染防止対策を徹底して利用者の健康管理に努めます。
- ・感染症並びに災害時における事業継続計画(BCP)を再整備していきます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域が求める(高齢者)福祉・介護サービスをつくります。
- ・認知症カフェを通し、地域の方と交流を行い、開かれた施設を目指します。
- ・施設見学や実習生等を積極的に受け入れ、地域の方に施設を理解して頂ける取り組みや機会を提供していきます。
- ・住み慣れた地域で今後も暮らしていけるよう、自治体や地域と協力していきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・安定的な雇用確保、離職防止のため介護職員の休日日数を見直し、働きやすい職場環境を確立します。
- ・事業所内外の各種研修を通して、専門職としての資質向上を図っていきます。
- ・介護記録等の電子化を行い、業務負担の軽減を図っていきます。
- ・職員間でのコミュニケーションを密に取り、チームでケアを行っていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスのとれた経営基盤をつくり、安定した施設運営を目指します。
- ・高稼働率を維持することで、安定した経営状況を継続していきます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
4F浴室換気扇修繕工事	627						
購入等合計	627	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（高齢者デイサービスセンター）

施設名 **フジ・デイサービスセンター**

定員 **25** 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の方々が住み慣れた場所で安心して暮らしていくことができるように、居宅介護支援事業所や家族、行政その他の福祉サービスと連携し、それぞれのニーズに応じたサービスを提供します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
74.9%	60.5%	51.4%	64.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・感染症に対しては、感染予防の徹底した取組みを引き続き行っていきます。
- ・居宅介護支援事業所を中心に、家族と行政、その他の福祉サービスとの連携を図りながら、その人らしい在宅生活を長く継続できる、きめ細やかなサービスと情報提供に努めます。
- ・特殊浴槽の活用を推進し、地域や利用者のニーズに応えます。

◆ 地域社会への取組み

- ・あきしま地域福祉ネットワークなどの活動に積極的に参加することで、地域での課題や要望を把握し、それらの課題や要望に応じて行ける組織の構築を目指します。
- ・BCPの策定に取り組み、災害時等でも社会的インフラ機能が維持出来る組織を構築します(策定期限令和5年末)。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・費用対効果を考えた業務改善を実践していきます。
- ・職員の資質向上のため、個々の職員のスキルに応じて学びの場を提供出来るよう、研修への参加や勉強会を企画していきます。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)に取り組み、業務の効率化、バランスの取れた働き方の推進を図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・コスト削減や新規加算の取得を目指します。
- ・新規利用者を獲得するため、毎月の営業活動数(各事業所周り等)の設定と遂行、送迎範囲の拡充を図り、目標稼働率64%を達成します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（認知症対応型高齢者デイサービスセンター）

施設名 東大和市ふれあいデイセンターひかり苑

定員 12 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

社会福祉法人としての責務を全うするため、地域の方々や利用者、家族に信頼される施設として、社会的役割を積極的に果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
54.0%	56.1%	48.5%	55.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・法人の理念と高齢者支援系グループ方針を遵守し、業務を遂行します。
- ・利用者の人権を尊重し「親切」「丁寧」「誠実」をモットーに「個別ケア」に努め、自立した生活が送れるように支援します。プランメソッドやハブティックセラピー、ICT等を活用し認知症状の緩和ケアを行います。
- ・個別機能訓練計画書に基づいた機能訓練を実施し、フレイル予防やADLの維持に努めます。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るために感染症対策や防災マニュアル、緊急時マニュアルを整備・運用します。

◆ 地域社会への取組み

- ・東村山市富士見町福祉施設連絡会と連携し、「富士見町あいさつ運動」に積極的に参加することで、地域の防犯防災に貢献し、東村山市通所サービス事業者連絡会、小平ボランティア担当者連絡会、運営推進会議等に参加・協力し必要な情報を得て利用者へのサービスにも反映していきます。
- ・地域に求められる(高齢者)福祉・介護サービスをつくります。
- ・地域包括ケアシステムを推進するため、地域の関係機関と連携を強化し、住み慣れた地域でいつまでも暮らせるように支援するとともに、行事への参加の案内や南庭の活用など感染症対策等を取りつつ積極的に地域と関わりを持ち、開かれた施設を目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・ボランティアや外出行事の再開をすすめ、サービスの質の向上につなげます。
- ・デイ会議やミーティング等職員間のコミュニケーションを積極的に図れる場を設け、職員が心身ともに健康で、安心して働ける職場環境を目指します。
- ・実習生等を積極的に受け入れることで、利用者の社会への関わりを広げ、豊かな生活の一助とするとともに、将来の福祉現場の人材確保につなげます。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

コストの管理、削減や新規加算の取得に取り組み、市内近郊のケアマネージャーと連絡を密に取りつつ特養・ショートステイと連携し、安定した新規利用者の獲得により、年間稼働率55%を達成し健全な経営を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)							
第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画 (地域包括支援センター)

施設名 新宿区榎町高齢者総合相談センター

【地域における施設ミッション】

高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、「高齢者の何でも相談所」としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
21.1名	26.2名	23.7名	24.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・新型コロナウイルス感染症関係の相談については特に区役所、関係機関との連携を重視して対応します。
- ・認知症が疑われる高齢者について、認知症初期集中支援チーム事業等の認知症施策を活用して、早期に適切な医療・介護サービスにつながるよう支援します。
- ・疾病のある高齢者が安心して地域で生活できるように、地域の医療機関と連携します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域が求める(高齢者)福祉・介護サービスをつくります。
- ・コロナ禍における、地域での支え合いの重要性について、区民等に普及啓発を行います。
- ・高齢者の生活を住民主体で支える体制を整備するため、多様なサービス提供主体と連携します。
- ・コロナ禍においても、家族会や介護者教室を開催することで、介護者への継続的な支援を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・感染症予防対策を通して、職場の衛生環境の維持向上を行います。
- ・自治体や関係機関の主催する研修に参加することで、職員の育成を行います。
- ・業務の見直し(チーム制等)を行うことで、ワークライフバランスを重視した職場環境の構築を目指します。
- ・社会福祉士や看護師等の実習生を積極的に受け入れることで、次世代の人材育成に寄与します。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

適切なコスト管理を行い、健全な経営環境を維持します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（地域包括支援センター）

施設名 昭島市中部地域包括支援センターあいぽっく

【地域における施設ミッション】

高齢者が住みなれた地域で生活できるように、「自助・互助・共助・公助」の視点を大切に地域包括ケア実現に向けて事業を展開していきます。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
19.0名	20.1名	23.1名	25.4名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・感染予防の徹底した取り組みを引き続き行っていきます。
- ・生活機能の低下を予防して要介護の状態にならないように、自立支援の視点を大切にしながら、介護予防のケアマネジメントを行います。
- ・家族介護者教室を市内の他の地域包括支援センターと連携しながら開催し、介護者の支援を行います。
- ・第8期昭島市介護保険事業計画に沿って昭島市や各地域包括支援センターと協働し、地域包括ケアシステムの推進に向けて、医療・介護・予防・生活支援・住まい等の関係者と顔の見える関係づくりに取り組めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・市民に向けた情報提供に積極的に努め、地域包括支援センターの役割が周知・活用されるよう取り組みます。
- ・地域ケア会議において、新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、個別ケースの課題を地域関係者、関係機関等と共有することで、地域課題抽出につなげていきます。
- ・昭島市の見守りネットワークの中心機関として、医療機関やインフォーマルサービス等も含めた、地域のネットワーク構築に取り組むことで、顔の見える関係を構築します。
- ・感染症対策に留意しながら、認知症サポーター養成講座等を通じて、町会等での認知症講座を開催することで、住民の認知症に対する理解を深めるなど、普及啓発活動を行います。
- ・個別ケースの状況に応じて、行政、地域（民生委員等）、昭島地域ネットワーク等との協力、連携を図ります。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・包括的・継続的ケアマネジメントに努め、高齢者が地域で自分らしい生活を安心して行えるよう、地域のケアマネジャーや他職種とも連携を深めます。
- ・介護保険事業所に対して、虐待に関する講義や疾患に関する講義を行い、スキルアップに努めます。
- ・看護学生、福祉系大学で社会福祉士を目指す学生の実習を受け入れ人材育成の一端を担います。
- ・感染予防の観点から、事業所内をアルコール等で1日3回拭き掃除し、定時の換気を引き続き行います。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

サービス向上とコスト削減を両立していけるようバランス意識を持った経営を心掛けます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（小規模多機能型居宅介護事業）

施設名 原町小規模多機能居宅介護センター

定員 25 名

【地域における施設ミッション】

要支援、要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援します。地域の認知症高齢者の生活を支える社会資源としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
93.0%	93.7%	82.4%	92.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・小規模多機能型居宅介護の柔軟なサービス形態を発揮し、認知症になっても可能な限り在宅での暮らしができるようサポートしていきます。
- ・感染症並びに災害時における事業継続計画(BCP)を再整備していきます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域が求める(高齢者)福祉・介護サービスをつくります。
- ・感染予防に留意した地域との関わりを地域包括支援センターをはじめ関係機関と連携して行っていきます。
- ・運営推進会議の開催方法を工夫しながら地域のニーズ把握に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・安定的な雇用確保、離職防止のため介護職員の休日日数を見直し、働きやすい職場環境を確立します。
- ・職員各々のスキルアップを目指し、また福祉の専門職としての研修を充実していきます。
- ・web研修、リモート会議を積極的に活用し業務効率を向上していきます。
- ・ICTを活用することで記録業務を見直し、ペーパーレス化に取り組みます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスのとれた経営基盤をつくり、安定した施設運営を目指します。
- ・稼働率(登録人数)と介護度のバランスを注視し安定した施設運営を目指します。
- ・業務効率化を図り、コスト削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（小規模多機能型居宅介護事業）

施設名 昭和郷小規模多機能居宅介護センター

定員 25 名

【地域における施設ミッション】

要支援、要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援します。地域の認知症高齢者の生活を支える社会資源としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
82.9%	87.3%	89.0%	90.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・住み慣れた地域・自宅で尊厳を持って暮らせるように支援します。
- ・利用者、家族一人ひとりの生活スタイルに沿って、在宅生活継続のための多様なサービスを一体的・連続的に提供します。
- ・運営推進会議等を活用し、意見を取り入れながら開かれた事業を運営します。
- ・地域の医療機関等の多職種と連携しサービスを提供します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時・感染時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域住民から信頼され、より相談しやすい事業所を作り、地域との関わりを大切にします。
- ・感染症の流行に伴う新たな価値観や変化する価値観に対応し地域社会との関係を築き、工夫しながら在宅生活が出来るように支援していきます。
- ・昭和郷高齢者複合施設全体の取り組みとして、休止していたさくらカフェを再開します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・スキルアップのための研修(複合施設合同研修を含む)を実施します。
- ・利用者の様々な状況に対応し伴走支援していくためにも職員の質の向上を目指し、認知症やサービスマナー、看取り等に対する理解を深めます。
- ・在宅支援についての機微を理解し、訪問・通い・泊りのケアを提供できる職員を職員各々の持ち味を生かしながら育成していきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・適正な職員配置に努めます。
- ・行政・地域包括支援センター・病院・居宅支援事業所等から紹介が受けられる関係を作ります。

【施設・設備整備計画】

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画（定期巡回・随時対応型訪問介護看護等）

施設名 昭和郷訪問介護センター

【地域における施設ミッション】

自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
22.6名	19.9名	21.5名	20.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

・居宅サービス計画を基に、計画作成担当者、サービス担当責任者が計画書を個々に作成し、支援を行います。計画書は随時見直し、柔軟で適切な支援につなげます。
 ・要支援者の生活を支えるための善きパートナーとなるべく、日常よりの確かな相談及び情報提供を行うことで緊密で良好な関係を保てるように努めます。
 ・新型コロナウイルスの流行によって生まれた新しい価値観や環境変化に合わせながら、利用者の健康と職員の健康を守っていきます。
 ・介護医療連携推進会議を定期的開催して透明性の確保を図ります。
 ・リスクマネジメントの観点から利用者の安全・安心を守るためにも、感染症対応や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

・昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、休止していたさくらカフェを再開します。
 ・地域の方への認知度を高め、誰もが集えるカフェを目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・在宅介護の専門職として利用者サービスの対応力を持った職員を育成するために個別の研修計画に基づき、月1回の研修(複合施設合同研修を含む)を実施します。
 ・ヘルパーをまとめる計画作成担当者及びサービス計画責任者が調整力を付け、より良いサービスにつなげるように能力強化を図ります。
 ・新規採用時には、個々の能力に合わせて十分な同行訪問などを行い、訪問介護の基礎の習得に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・定期巡回を中心に、適切な人員配置及びサービス調整を行い、利用者獲得と安定経営を図ります。
 ・総合ケアマネジメント/サービス提供加算の算定を続け、安定した収益源とします。
 ・定期巡回20件 夜間対応6件を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（サービス付き高齢者向け住宅）

施設名 さくらガーデン

定員 49 室

【地域におけるミッション】

本人の意向を十分に尊重し、その人らしい暮らしを地域の中で続けることができるよう質の高いサポート・支援を提供します。また関係諸機関等とも連携し地域包括ケアシステムの構築に努めます。

【重点項目】

◆ 目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
89.0%	93.2%	96.5%	94.6%

◆ サービスの充実

- ・入居者面談を通じニーズを具体的に把握し、快適な生活を支援します。
- ・地域資源、催し物等の情報を提供し、入居者の社会参加を手伝います。
- ・リスクマネジメントの観点から入居者の安全・安心を守るためにも、感染症対応や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。
- ・関係機関を中心に営業活動を行い、施設の周知を図り、地域ケアの一端を担えるよう努めます。
- ・定期巡回と更なる連携を図り、安心した生活が提供できる体制づくりに取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、休止していたさくらカフェを再開します。
- ・地域の方への認知度を高め、誰もが集えるカフェを目指します。
- ・地域の方と共に利用できる、移動販売車などの社会資源を活かした地域包括ケアの推進に取り組みます。

◆ 人材の育成と職場環境の整備

- ・入居者が気持ちよく生活できるように、細やかな配慮のできる職員を育成します。
- ・サービス付き高齢者向け住宅協会の実施する研修を通して、サービスの質の向上、現職員のレベルアップを目指します。
- ・厨房スタッフの情報交換、衛生知識の向上の機会を適宜提供し、働きやすい職場づくりをしていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・円滑な入居支援を実施します。
- ・コスト削減のために支出状況の見直しを行います。
- ・経営の安定化を図るため、適正な利用料金の検討を進めます。
- ・昭和郷訪問介護センターとの連携体制の強化を進めていきます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

3. 障害者支援系施設の経営

障害者支援施設、心身障害者福祉ホーム、身体障害者福祉センター、共同生活援助事業並びに特定相談支援事業等を経営します。

1 グループ方針

・法人の中長期計画に基づき安定した経営基盤の確立を目指すとともに、報酬改定等を含む障害施策に応じた事業経営にあたります。
・新型コロナウイルス感染防止対策及び、感染者が発生した場合のグループ内協力体制を継続し、収束に向けた迅速な対応を講じます。また、適切な対応・環境を整え、コロナ禍が続いたとしても安定した事業継続を行います。
・多様なニーズに応えるための専門性を備え、かつ倫理意識の高い職員集団を目指します。
・各事業所が地域の社会資源の一つとしてその機能を十分に発揮し、共生社会の実現に向けて地域との連携強化を図ります。
・令和7年度開所予定の杉並区の都有地活用による地域福祉インフラ整備事業運営事業者として選定されたことを受け、区民の要望に応えられるよう計画を検討していきます。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

・虐待防止、指針に基づく身体拘束等の適正化に向けて、様々な研修の実施、また地域連携ネットワークなどを活用しながら、組織としての意識の向上を図ります。
・サービス等利用計画と個別支援計画との連動性を強化し、利用者一人ひとりの意思決定が尊重され、豊かな暮らしへとつながるよう質の高いサービスを提供します。
・新型コロナウイルス感染症の影響における在宅支援等において、家族・行政等との連携を図りながら、ITなども活用した支援の工夫に努めます。また、感染流行時においても、できる限り通常通りの開所を実施し、地域生活が維持できるように努めます。
・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、感染症対策の強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・新たなニーズに対応できるように、各事業所における特徴を活かすとともに、施設機能をさらに高め地域の暮らしを支援します。
・地域との交流行事(お祭りや講演会等)を通し、障害者への理解推進を図り、また社会に根差した施設を目指します。しかし、今年度においてもコロナ禍対応として、国及び法人の方針に従いながら安全な開催に向けての取り組みを進めていきます。
・地域の特性や施設の特徴を生かした社会貢献事業を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・計画的な人材育成を進め、多様な事業運営に対応できる人材の確保に努めます。
・キャリアアップ制度、研修等を通して、支援力の向上と福祉従事者としての誇りが持てるような職場風土の醸成に努めます。
・グループホーム利用者の生活が豊かで、尊厳が保たれるよう、世話人等の資質の向上、バックアップ体制の強化を図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・報酬改定や新規施策、制度変更等、国や都の動向を常に注視し、即応できる体制を整えます。
・コロナ禍においても安定した施設運営となるよう、稼働率の向上、在宅支援、補助金の活用、加算の取得、コストの削減を図り、健全な運営と効率的な経営を目指します。
・社会情勢により、すべてにおいて物価が高騰し運営費を圧迫しています。適切な予算の作成と執行を行い、さらに日々の節約にも心がけ、安定した運営となるよう努めます。

1 障害者支援施設

障害者総合支援法の多機能型施設として障害のある方への施設入所支援・生活介護(旧法:更生)・就労移行支援・就労継続支援B(旧法:授産)・短期入所事業を行います。

2 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い自立生活を助長します。また、併せて緊急一時保護も行います。

3 身体障害者福祉センター

東久留米市内の居宅で生活している15歳以上の心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図ります。

4 共同生活援助(グループホーム)

障害のある方に対して、主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排泄または食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。

5 特定相談支援事業

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援)を行います。自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた、ケアマネジメントを行いきめ細かく支援します。

令和5(2023)年度 事業計画 (障害者支援施設)

施設名	さやま園		
定員	96	名	
			短期入所専用
			施設入所支援
			特定相談支援事業
			4
			96
			名
			名

【地域における施設ミッション】

行政や他事業所と連携し、入所者の生活の充実及び地域移行の促進を図り、知的障害者の福祉の中核的拠点としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率(施設入所支援)

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
99.5%	98.6%	97.9%	97.8%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・新型コロナウイルス感染防止対策を継続し、安全な生活の提供に努めます。昨年度同様感染者が出た場合には、行政や法人、障害系グループ間との連携・協力体制により、早期の収束に向けて取り組みます。
- ・今年度もコロナ禍により活動を制限せざるを得ない状況になるかも知れませんが、これまでの生活の中で得た経験(行事や外出、デリバリー等)を活かし、日々の生活が不便かつ窮屈にならないよう取り組みます。
- ・高齢化及び重度化する利用者を中心として、利用者全員が健康で生き生きと生活出来るよう、OT、PTとの連携、協力を図りながらリハビリに取り組んでいきます。また、リハビリ器具、介助器具等を導入し、利用者、支援員の負担軽減を図ります。利用者によっては療養型病院や高齢者施設への移行も視野に入れて、家族や行政と連携していきます。
- ・地域移行が可能な利用者に対して、生活面と社会性の習得へ向けた自立支援を行います。
- ・事業継続計画(BCP)は専門家を交えて見直しを行います。防災、感染症対策等、有事に即応できるよう努めます。

◆ 地域社会への取り組み

- ・新型コロナウイルスの感染状況により、地域の催し等は中止や内容を見直し、収束時に向けた準備(作品販売、ワークショップ等)を進めながら、地域との関わりが途絶えないように努めます。
- ・中間的就労者を対象に、一般就労へ向けて働くための体験の場の提供を継続します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・虐待防止研修や介護技術の習得講習、グループワークやケースカンファレンス、またリモートによる様々な研修等を実施し、職員一人ひとりの意識とスキルの向上を図り、組織全体の底上げを目指します。
- ・エルダー制度による人材教育や職員の得意技術を活かした研修(介護等)を実施し、人材育成に努めます。
- ・8時間労働を実施するにあたり業務内容の見直し、職員の意識改革や設備等の改善を図り、働きやすい職場環境や風土を整えます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症の影響や報酬改定などによる収支状況を踏まえ、安定運営を図ります。
- ・職員が研修に参加することで、強度行動障害等の加算の取得を目指します。
- ・適切に計画と予算を執行し、健全な経営を目指します。物価高騰のためにコスト削減に努めていきます。

【施設・設備整備計画】

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
見守りカメラ・防犯カメラ	2,398	本棟食堂床改修工事	6,215	南棟エアコン交換工事	2,398		
1F汚物処理機	930	非常発電機用蓄電器	715	PC(×16)	3,854		
食堂昇降テーブル(×5)	515			本棟昇降機修繕工事	571		
リハビリ機器	831						
購入等合計	4,674	購入等合計	6,930	購入等合計	6,823	購入等合計	0

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	小茂根福祉園		
定員	生活介護	40	名(通所)
	就労継続支援B	30	名(通所)
	計	70	名

【地域における施設ミッション】

住み慣れた地域での「私らしい暮らし」を支援します。
地域と協働し住みやすく優しいまちづくりに貢献します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
80.0%	77.5%	75.5%	80.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、安心して利用できる環境を整え事業の継続を図ります。また、新たに飲食店営業許可及び菓子製造許可を取得し利用者の活躍の場の拡充に取り組みます。
- ・虐待防止及び不適切な支援の根絶を目指します。
- ・個別支援計画に基づき、利用者の意思決定を尊重した支援を行います。また、長期欠席者には関係機関と連携し個別ニーズに沿った支援に努めます。
- ・自主生産品(KOMONEST)、アート活動、コーヒー販売など様々な取組みを工夫し工賃アップに取り組みます。
- ・TURNLANDプロジェクトに参画し利用者が様々な方々との交流・表現の場を広げることを目指します。
- ・事業継続計画(BCP)の再確認を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、感染症対策の強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・近隣施設や関係機関、各種団体・企業と交流を深めながら情報発信力を高め、地域共生社会の実現に向けて協働します。
- ・ボランティアを受け入れ、地域の方々から施設を理解していただき、地域に根差した施設づくりに取り組みます。
- ・板橋区社会福祉法人施設連絡会、東京都社会福祉協議会通所施設分科会等に参画して地域ニーズに応える活動や社会貢献に取り組みます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・園内の職員交換研修を行い、チーム小茂根として事業運営に取り組みます。また専門性と倫理観の高い職員育成を目指し、オンライン研修等を積極的に活用して学びの機会を確保し、業務分掌の適正化・効率化に努めます。
- ・SDGsを学び、17の目標に照らして福祉事業及び今後の運営のあり方、誰一人置き去りにしない社会や支援のあり方を考えていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・板橋区の区立福祉園のあり方に関して、民営化なのか指定管理継続なのか流動的ではありますが、区の方針に沿って、今後の事業運営について、家族や所管課・法人本部と密に連携していきます。
- ・職員一人ひとりが運営費の歳出歳入に関して省エネとコスト管理の意識を持ち、費用対効果を発揮して適正かつ効率的な経費の執行に努めます。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
空調設備改修工事 (板橋区実施)	27,240					シャワー室改修工事	1,500
玄関入口改修工事 (板橋区実施)	4,235						
購入等合計	31,475	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	1,500

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	立川福祉作業所		
定員	就労移行	6	名(通所)
	生活介護	30	名(通所)
	就労継続支援B	44	名(通所)
	計	80	名

特定相談支援事業

【地域における施設ミッション】

地域の中の通所施設の役割を意識し、住み慣れた街での安全・安心な生活、社会貢献の責任、地域ぐるみの災害対策に取り組めます。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
85.6%	87.1%	87.5%	90.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・高難度、大量生産で工賃アップを目指していた従来の方向性から、利用者を中心に置いた誰もが参加できる作業活動へ転換を図っていきます。
- ・知的障害を中心としつつも多様な障害を受け入れ、個を大切にそれぞれの「働く」を考えます。
- ・利用者の夢や希望を叶えるため、個別支援計画のソーシャルワークに力を注ぎます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域のネットワークや自立支援協議会などに参画し、地域の一員としての責任を果たします。
- ・パン販売を通じて地域に貢献するとともに、誰もが気軽に利用できる店としてBAKUBAKUを運営します。
- ・法人間で協力し、専門性を発揮した交流活動を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・ハラスメントの起きない、お互いを労りあい尊重する、働きやすい職場を目指します。
- ・目的、目標を共有し、評価し合うことでお互いに助け合えるチームワークを築きます。
- ・資格取得と研修受講を奨励し、スキルアップ、キャリアアップを目指します。
- ・第三者評価を運営に活かし、施設の強みを伸ばし課題を解決していきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・幅広く利用者を獲得し、財務基盤の安定に努めます。地域の学校や支援センター等を定期的に巡回し、情報収集に努めるほか、広く門戸を開いて利用につなげます。
- ・令和6年度に「平均工賃月額」に応じた基本報酬から「利用者の就労や生産活動等への参加等」を持って一律に評価する基本報酬へ移行できるのか研究します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	東村山生活実習所					
定員	生活介護	30	名(通所)	短期入所専用	2	名
	就労継続支援B	10	名(通所)			
	計	40	名			

【地域における施設ミッション】

地域と協働しながら利用者、保護者、地域のニーズの解決に向けて取り組みます。地域から信頼され誰からも必要とされる魅力ある施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
93.3%	97.2%	94.8%	96.8%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、地域活動の活性化を図ります。また災害及び感染症のBCPを見直しながら、安全・安心に向けて取り組みます。
- ・様々な研修を通して職員の倫理意識と専門性の向上を図り、虐待防止・身体拘束・合理的配慮等の適正化に努めます。
- ・個別支援計画の充実と意思決定支援により、利用者の自己表現・自己実現に向けて取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・様々な活動を通じて地域と関わりを深め、利用者の社会参加を促進します。
- ・地域ネットワークに参画し、地域課題の解決に向けて協働しながら、地域福祉の増進と共生社会の実現に向けて寄与します。
- ・特別支援学校の卒業後の進路や地域の利用ニーズに対応し実習等を受け入れます。地域の社会資源として機能します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・コロナ禍においても職員一人ひとりの専門性が高まり、質の高い支援が実施できるよう、リモートを活用した研修、内部研修でのグループワーク等を実施し、組織全体としての向上を図ります。
- ・業務の効率化とワークライフバランスの実現により働きやすい職場環境を整備します。
- ・エルダー教育の充実と業務の標準化に取り組み、多様な人材が活躍できる職場を目指します。
- ・業務の効率化や介護負担の軽減を目的に、ICTの活用や福祉用具等の導入を検討します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した施設運営を行うため、定員超過での利用者受入れを実施し、安定的な利用率を維持します。
- ・様々な媒体を通じ、施設情報(魅力)の発信力を高めるとともに、相談支援事業所・特別支援学校等との関係性を深め、新規利用者の確保につなげます。
- ・物価高騰による影響を最小限に抑え、省エネ、コスト削減に努めながら健全な管理運営を目指します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
軽自動車	985	防犯カメラシステム	673	冷凍冷蔵コールドテーブル	941		
購入等合計	985	購入等合計	673	購入等合計	941	購入等合計	0

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画 (心身障害者福祉ホーム)

施設名 さくらんぼ

主な事業	長期自立支援	特定相談支援事業
	短期自立訓練	移動支援事業
	緊急一時保護	自立生活援助事業
	レスパイト	豊島区東部・西部障害支援センター

【地域における施設ミッション】

親なき後を見据え、「としま生活」を支えます。24時間365日サービスを提供し住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
6.0名	7.7名	7.6名	8.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・地域生活を継続できるよう緊急即応できる職員体制を整え、利用者・家族の期待に応えられるよう取り組みます。
- ・感染症対策並びに災害対策として、全事業について個別の事業継続計画(BCP)を作成し、体制整備を強化し、利用者の安全・安心につなげていきます。
- ・利用者の多様な生活状況や障害特性を踏まえ、個々の実情に応じた意思決定支援を行うとともに、社会参加の機会や選択の機会を提供し、自己実現に向けて支援します。
- ・東部・西部障害支援センターは、一体的な管理運営を図り、豊島区民の福祉向上に努めます。
- ・3か所(さくらんぼ、東部、西部)の相談支援事業所が連携・協力し、計画相談支援の充実を図ります。
- ・令和7年度の大規模修繕に伴う事業のあり方について、豊島区との協議を行います。

◆ 地域社会への取り組み

- ・地域公益活動としての「福祉なんでも相談窓口」を継続するとともに、社会福祉協議会が行うフードバンク事業に協力し、生活困窮者支援等、地域福祉力の向上を目指し取り組みます。
- ・地域支援協議会や障害福祉計画推進会議等地域における協議体に参画し、協働して障害福祉事業の発展に貢献できるよう取り組みます。
- ・ウィズコロナの地域交流を目指し、地域の方々に喜んで頂ける行事となるよう創意工夫をして取り組みます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員一人ひとりの希望やキャリアに応じた研修計画による計画的な人材育成を図ります。
- ・職員主体による内部研修(OJT含む)を引き続き充実させ、活気ある職場風土の醸成と、非常勤職員を含む職員全員のスキルアップと利用者の虐待防止・権利擁護に取り組みます。
- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)とKY活動(危険予知)に取り組み、環境整備及び事故防止に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・省エネ、省資源などコスト削減に取り組み、物価高騰下でも対応できるよう効率的な管理運営に努めます。
- ・東部・西部障害支援センターの業務獲得に向けてプロポーザルに参加し安定した仕事の確保に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（身体障害者福祉センター）

施設名 **さいわい福祉センター**

主な事業	地域活動支援センター事業	生活介護
	都型ショートステイ事業(宿泊)	就労移行支援事業
	日中一時支援事業	居宅介護事業
	就労支援事業	特定相談支援事業

【地域における施設ミッション】

東久留米市における障害者福祉の中核的な役割を担い、障害のある人が住み慣れた地域で必要な時に必要なサービスを利用しながら安心して暮らせるよう支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
14.8名	17.2名	19.5名	21.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・地域の支援拠点としていつでも相談できる体制を作り、必要なサービスの提供や関係機関と連携し地域生活を維持できるよう支援します。また課題解決等に向けて切れ目のない支援を行います。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策や防災・防犯対策等について、適宜事業継続計画(BCP)の見直しを行い整備します。
- ・合理的配慮や意思決定支援、虐待防止の徹底など高い倫理観をもって利用者の人権を守り、常に利用者の立場を考え支援します。

◆ 地域社会への取組み

- ・自立支援協議会や学校運営協議会、相談支援ネットワーク会議などに参画し地域の課題やニーズ等を把握、関係機関と協働し解決に向けて取り組みます。
- ・近隣の学校など教育機関と連携し障害に関する啓発活動や社会貢献に努めます。
- ・地域の交流行事等の事務局として、感染状況を考慮しながら、行事の開催に向けた協議を継続します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・施設内外の研修を積極的に行い、障害や介護の基礎、応用を学び専門性を備えた人材の育成に努めます。
- ・事業が多岐にわたるため、内部研修等を定期的に行い事業理解と相互理解を深め各種情報を職場全体で共有し一体性を高めていきます。
- ・職員が安心して働ける風通しの良い職場環境を作り、チーム力の向上と人材育成・定着に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・光熱費や物価の高騰による事業費の圧迫が予想されるため、省エネや再利用などコスト削減の意識をより一層高め適切な予算執行に努めます。
- ・施設の老朽化や機材等の経年劣化による修繕等の費用については、市の修繕計画と照らし合わせ、協議をしながら進めていきます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（共同生活援助）

知的障害者グループホーム

		定員	
施設名	アミニティ富士見	6	名
	グリーンハイツ	6	名
	フレンズ・モエ	4	名
	パル	6	名
	それいゆ小川	7	名
	ファーム竹丘 1	6	名
	ファーム竹丘 2	7	名
	風のね	10	名
(上記8ヶ所のバックアップ施設: さやま園)		52	名
施設名	レヂオンス巣鴨	4	名
	はなみずき	4	名
	ユーカリ	4	名
(上記3ヶ所のバックアップ施設: さくらんぼ)		12	名
施設名	夢オハナ	6	名
	結オハナ	6	名
(上記2ヶ所のバックアップ施設: 立川福祉作業所)		12	名

【地域における施設ミッション】

一人ひとりの豊かな地域生活を支援します。

【重点項目】

◆ 利用者支援サービスの充実

・意思決定支援・合理的配慮に基づき、利用者の意向を尊重した個別支援計画を作成します。また家庭的な雰囲気大切に、和やかで安定した生活が送れるよう支援します。
 ・高齢化や精神的課題など多様化するニーズに対し、様々な社会資源を有効活用しながら豊かな生活が送れるよう支援します。
 ・防災・防犯訓練を計画的に実施し、有事に備え、安心して生活できる環境整備を行います。
 ・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、感染症及び災害時に即応できる体制を作ります。

◆ 地域社会への取組み

・関係機関や近隣・地域との関係を深め、利用者の社会参加と自立促進を目指します。
 ・地域の自治会やボランティア活動に参加し、地域の一員として社会に貢献します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・虐待防止、合理的配慮、意思決定支援等、利用者の権利擁護に資する外部研修への参加を促進し、世話人全体の支援力向上を目指します。
 ・いつでもバックアップができる体制強化を図るために情報を共有し、世話人が安心して働ける職場環境を整えていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・物価高騰対策に関する補助金等を活用し、日常生活への影響を軽減できるよう努めます。
 ・報酬改定や都加算見直しによる収益への影響に注視し、安定的に経営ができるよう取り組みます。
 ・都加算の補助要件となった第三者評価の受審及び世話人の外部研修受講を計画的に進めていきます。

4. 児童・女性支援系施設の経営

母子生活支援施設、児童養護施設、婦人保護施設、児童厚生施設を経営します。

1 グループ方針

・社会福祉法人としての責務を果たすため、法人の中長期計画の方針に沿って、グループ運営及び各事業所の運営を行います。
・新型コロナウイルス感染防止対策及び感染者が発生した場合のグループ内協力体制を継続し、収束に向けた迅速な対応を講じます。また、適切な対応・環境を整え、コロナ禍における安定した事業継続を行います。
・利用者の人権や尊厳を守ります。
・個別支援計画に基づいて自立を支援します。
・安全・安心で快適な生活環境を提供します。
・関係機関と連携強化を図り、地域公益活動を進めます。
・職員の専門性と資質向上に努めます。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

・利用者が安心できる生活環境の中で心のケアを行い、自尊心を高め自己決定ができるよう支援に努めます。
・利用者一人ひとりの自立支援は、本人の意向を尊重した自立支援計画に基づき、関係機関と連携し適切に行います。
・防犯防災及び感染症に対する事業継続計画(BCP)の見直しと訓練を行い、利用者の安全・安心に取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

・感染症予防対策を行った上で、地域の子どもたちへ居場所を提供していきます。また、施設行事への招待や遊びを通じて健全な育成支援に努めます。
・グループ事業として9年目の「地域こども学習室(通称ラ・スク)」に取り組みます。
・地域社会資源(NPO法人等)を開拓し連携することで、地域の公益活動につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・職員の育成は、キャリアパスに基づき個別育成計画に沿って進めます。また、各種研修参加により専門性を向上し、利用者対応力を高めます。
・職員相互のピアスーパービジョンで専門スキルと資質の向上を図りながら、働きやすい職場環境づくりに努めます。
・施設実習の学生を積極的に受け入れて当法人の魅力アピールし、人材確保につなげます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・サンライズ武蔵野は、広域利用の枠を広げ利用率アップを図ります。
・サンライズ万世は、利用率向上に努めると共に新たな加算の取得に取り組みます。
・双葉園は、新規グループホームの立ち上げと本園の機能転換に向けた計画策定に取り組みます。
・いこいの家は、措置費収入増により安定的な経営を進めます。
(令和6年度「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」施行)

1 母子生活支援施設

18歳未満の子どもを養育している母子家庭等の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援します。

2 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援します。

3 婦人保護施設

性暴力やDV被害者等、困難な課題を抱えた女性への支援(精神的・医療的、また食を通じた健康管理、就労支援など)を入所時のみならず退所後も継続し、安全・安心な生活を見守ります。

4 児童厚生施設

児童に健全な遊びの場を提供し、健康を増進して豊かな情操を育てるための児童センターとして運営します。

令和5(2023)年度 事業計画（母子生活支援施設）

施設名	サンライズ武蔵野		
定員	20	世帯	緊急一時保護
			1
			世帯

【地域における施設ミッション】

母子の「こころ」を支え、安全で安心できる環境を提供し、自立に向けて支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
67.5%	56.4%	85.0%	90.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の意思を尊重した自立支援計画を策定し、関係機関と連携して自立を支援します。
- ・広域の利用者には、措置元、杉並区、施設が連携して利用者の安全・安心な生活を提供します。
- ・学童一人ひとりの課題に合わせた支援を行い、生き生きとした日常を送り、将来の目標に向かって進めるようきめ細やかな支援を行います。
- ・利用者の自立を支援するため、補助保育の環境を整えます。
- ・防犯防災及び感染症に対するBCP行動計画の見直しと訓練を行い、利用者の安全・安心に取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域のひとり親家庭に向けて電話相談事業を継続します。
- ・グループとして、同援こども学習室で、地域の学童の学習の機会や食事の提供を行います。
- ・アフターケアとして、退所した世帯の状況確認、相談支援、退所先関係機関との連携により、退所後の生活を支援します。
- ・地域の事業所と協力して、コロナ禍に対応した地域住民向けのイベントに参加します。
- ・杉並区社会福祉協議会における地域公益活動に参画し、施設の資源を地域に提供します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・法人のキャリアパス制度に基づき研修に計画的に参加し、キャリアアップと職員の処遇改善に努めます。
- ・職場内研修としてメンタルヘルスクア研修を実施し、職員が意欲的に業務に取り組める環境を整えます。
- ・実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成を図ります。
- ・ハラスメントの防止に取組み、働きやすい職場環境づくりに努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・広域利用の枠を広げ、利用率の向上を図ります。
- ・措置費、サービス推進費の加算を取得し、収入の増加につなげます。
- ・コスト意識の徹底を図り、支出の削減を行います。
- ・月別予算により適正な執行管理を行います。
- ・大規模修繕に向けた準備を進めます。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
居室エアコン(×10)	1,350			PC(×14)	3,594		
購入等合計	1,350	購入等合計	0	購入等合計	3,594	購入等合計	0

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画 (母子生活支援施設)

施設名	サンライズ万世		
定員	20	世帯	緊急一時保護
			2 世帯

【地域における施設ミッション】

母子の「こころ」を支え、安全で安心できる環境を提供し、自立に向けて支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
97.1%	84.7%	97.0%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・一人ひとりの意思や人権を尊重し、個別自立支援計画に基づく支援を提供します。
- ・関係機関と連携を密にし、母子が適切に課題解決に向かうよう支援に努めます。
- ・精神的ケアとアタッチメントを中核に据えた親子関係再構築支援を行います。
- ・子どもの健全育成を目指し、学習支援と生活支援に努めます。
- ・エレベーターの制御盤等を交換し、設備の安全管理に努めます。
- ・防犯防災および感染症に対するBCP行動計画の見直しと訓練を行い、利用者が安全・安心に過ごせるように取り組みます。

◆ 地域社会への取組み

- ・グループ事業として9年目の地域こども学習室(通称ラ・スク)に取り組みます。
- ・14年目の地域無料心理相談事業を継続して取り組みます。
- ・アフターケアを計画的に進め、相談援助や社会資源の提供等により退所後の生活を支援します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・相談援助や保育士養成校及び教員介護体験等の学生を積極的に受入れ、人材の確保と育成を図るとともに、職員のスキル向上を目指します。
- ・キャリアパスに連動した職員個別の育成計画(研修計画含む)を作成し、人材育成に努めます。
- ・ハラスメントを生じさせない風通しの良い職場作りを行います。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・年間利用率100%を目標にして、財務基盤の強化を図ります。
- ・措置費、サービス推進費の加算を取得し、収入の増加につなげます。
- ・コスト意識の徹底を図り、支出の削減を行います。

【施設・設備整備計画】

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		PC(×3)	789	エレベーター更新	7,975		
購入等合計	0	購入等合計	789	購入等合計	7,975	購入等合計	0

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画 (児童養護施設)

施設名	双葉園		
定員	双葉園	38	名
	高嶋の家(地域小規模)	6	名
	くすのき(地域小規模)	6	名
	計	50	名

昭島市子どもトワイライトステイ事業 2 名

【地域における施設ミッション】

「子どもは本来すばらしいのだ」という理念の周知を図ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
99.4%	96.4%	94.3%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもが権利の主体であることを念頭に置き、「子どもファースト」で支援にあたります。
- ・子どもや家庭のニーズ把握をしっかり行い、自立支援計画の充実を図ります。
- ・全ての支援に対し説明責任を果たせるように、根拠のある支援を行っていきます。
- ・将来的に利用者へのサービス提供体制の幅を広げていくため、施設の高機能化、多機能化および小規模化、分散化(新規グループホームの立ち上げ)を進め、またケアの高度化などを検討していきます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域の子育てを支援する一環として昭島市から受託している「トワイライト事業」を行います。
- ・卒園生をはじめ子ども達が地域で安心して暮らせるように、関係機関、団体等と連携します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員個々の目標や施設での役割に合わせた研修機会を作り、知識や技術の向上を図っていきます。また、OJTチェックリストを活用し、専門性や支援の標準化を図ります。
- ・働くもの同士として、それぞれの立場を理解し尊重しあう中でより良い支援ができるように、意識した関係を構築していきます。また、お互いがフォローできる関係を構築し、「相談できる」職場環境をつくっていきます。
- ・ハラスメントの防止に努めます。
- ・新規GH開設、ケアの高度化を見据えた人材育成に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・施設利用率を常に100%に保ち、措置費、サービス推進費、補助金等の収入の確保に努めます。
- ・予算執行を常に適切に行い収入の増を目指します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
厨房・エアコン更新	1,265	不審者対応放送設備	801	PC(×10)	2,629		
購入等合計	1,265	購入等合計	801	購入等合計	2,629	購入等合計	0

(千円)

令和5(2023)年度 事業計画 (婦人保護施設)

施設名 **いこいの家**
 定員 **40** 名・世帯

【地域における施設ミッション】

女性の人権を守り、その自立を支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
27.6%	29.2%	36.0%	40.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・令和6年4月1日より「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が根拠法となることを踏まえ自立を支援します。
- ・専門職が協働しチームケアで質の高いサービスを提供します。
- ・女性の心と体を知り自分を守る力を養えるよう支援します。
- ・心身の健康と食の大切さを生活の基本とした支援を行います。
- ・心理的支援では心の健康回復に努めます。
- ・施設内事業を就労機会の創設促進と位置づけ、自立に向けて取り組みます。(ex.菓子製造等)
- ・新型コロナウイルス感染予防や災害に備えた危機管理を行い、安全・安心な生活環境を提供します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域のNPO法人が運営するフードバンクや子ども食堂と連携し、福祉ニーズへの支援に努めます。
- ・地域における退所者支援を積極的・継続的に行い、安全・安心な生活を支援します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・法人内外の各種研修で専門スキルの取得と資質向上に努めます。
- ・社会福祉を学ぶ実習生を積極的に受入れ、様々な経験と学びを提供し、福祉人材の確保育成を図ります。
- ・様々なハラスメントの防止に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・適切な職員配置により、新たな加算取得に努め収入増を図ります。
- ・各種補助金の取得を積極的に行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		1F大浴場改修	6,428				
		業務用食器洗浄機	1,155				
購入等合計	0	購入等合計	7,583	購入等合計	0	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（児童厚生施設）

施設名 昭島市児童センターぱれっと

【地域における施設ミッション】

子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所を提供し、遊びや行事を通して健全な児童育成を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標1日平均利用者数

R01(2019)年度実績	R02(2020)年度実績	R03(2021)年度見込	R04(2022)年度目標
80.9名	92.4名	110.0名	120.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

・新型コロナウイルス感染防止対策を図り、当館利用者の安全を第一にします。また、子育て支援の拠点として遊び文化の伝承に努めるとともに、居場所を提供し施設利用の中核となる児童の育成を目指して、小学校高学年向けの遊びを提供する時間を設けます。また、行事等を通して、乳幼児や親同士のつながりを考慮した子育て仲間づくりを推進します。
・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、さらには感染症対策の強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・新型コロナウイルス感染防止対策を充実し、地域に向けて当館の安全性を発信します。
・保護者や子どもを中心とした施設集会室の貸し出し事業を実施し、広く地域の方々に利用してもらえるよう努めます。
・季節行事やボランティア等によるコンサートの実施を通して施設理解につなげます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

職員研修の充実を図り、専門性を備えた人格の醸成を図るとともに、接遇マナーを高め地域に信頼される児童の居場所となるよう努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

昭島市との調整をはかりながら、適正な人件費を引き続き維持し、事業費、事務費を極力抑えた運営に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

5. 医療事業施設の経営

令和5(2023)年度 事業計画 (医療事業施設)

施設名 昭島病院

定床 199 床

【地域における施設ミッション】

地域に根差した病院を目指して、急性期から回復期まで、すべての患者の皆様には安全かつ質の高い医療を提供します。

【重点項目】

◆ 病床目標利用率

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
83.3%	80.0%	76.8%	86.4%

◆ 目標患者数(1日あたり平均)

入院	外来
172名	370名

◆ 救急車目標受入台数(1ヵ月あたり)

90 台

◆ 利用者支援サービスの充実

・リハビリテーション体制の充実
職員の増員を図り、365日リハビリテーション体制に向け準備します。

・感染防止対策の徹底
新型コロナウイルス感染症に限らず、あらゆる感染症に対し、検温・手指消毒の徹底、飛沫防止対策、換気等に十分配慮した感染防止対策を行います。
職員への教育を充実し意識の向上を図ります。

・患者数(入院・外来)の増へ向けた取組み
他院、地域診療所等と連携し、急性期、包括ケア、回復期など病院機能を活かした紹介患者受入増及び救急並びに時間外患者を最大限受入れるよう努めます。
入院から退院、退院後の医療や生活までの相談及び支援をきめ細かく行います。

・患者サービスの向上
医療情報システムを活用し、待ち時間の短縮や患者情報一元化による患者サービス及び医療安全の向上を目指します。
患者への声掛けを積極的に行い安心して受診出来るよう努めます。

・医療保護施設としての役割
無料低額診療施設として、積極的に相談を受け、必要な医療を受けやすい環境を提供します。

・オンライン診療
オンライン診療の適切な実施に向け院内で十分な検討を行います。

・特定健康診査
受診体制の効率化を行い待ち時間の短縮に努めます。

・MRIの更新
検査精度の向上と患者の負担軽減を図り、より安心して検査を受けられるよう努めます。

◆ 地域社会への取組み(地域医療の充実・地域包括ケアへの取組み)

・地域の医療需要の変化に対応できる地域包括ケアシステムの推進
昭島市、医師会等三師会、昭和郷施設及び近隣事業所と協働するため、担当者間の連携を十分に図ります。

・災害時対応の強化
東京都の「災害拠点連携病院」として、昭島市、昭島市医師会及び昭和郷施設との災害対応の連携及び体制強化を図ります。(ライフラインの優先供給等依頼予定)
BCPのメンテナンスを行い災害発生に備えます。

・訪問診療について
訪問診療開始に向けて体制の構築及び患者の確保を図り、早期の実現を目指します。

◆ 医療人材の育成と職場環境の整備

・働き方改革の取組み
人員充足に努め、特に、医師・看護師の職場環境の整備及び働き方改革を進めます。
人材確保のため、休日を増やす検討を院内で十分行っていきます。

・業務に役立つ研修会の実施
身近な問題をテーマとし、より実践的なスキルの習得を目指します。

・職場環境の整備
空調設備の入替えに向け、安全かつ円滑な計画を進めていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・患者数の確保(救急患者を含む)
入院・外来患者の目標数を達成するため病院や診療所等からの紹介患者の受入れを積極的に進めるとともに、病床稼働の安定を図り、ベットコントロールミーティングを継続します。
検査体制の充実を継続し救急患者受入を強化します。

・病床稼働率の向上
地域包括ケア病床を8床増床し、病床稼働率86.4%を目指します。

・経費の削減
法人のスケールメリットを活かした物品の購入など支出の適正化を図り、経費の削減に努めます。

・光熱費の削減計画
電気料高騰に伴い使用電力の削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
ナースコールシステムサーバー	3,000	調剤支援システム用端末	1,320	シャワーベッド	4,076		
无影灯(手術室×2)	19,987	内視鏡カメラシステム	21,281	上部消化管ビデオスコープ	3,679		
自家発電装置(蓄電池)	1,100			薬袋用プリンター	988		
冷温蔵庫配膳車(×2)	5,604			空調設備(A館・B館)	53,033		
MRI	109,715						
購入等合計	139,406	購入等合計	22,601	購入等合計	61,776	購入等合計	0

令和5(2023)年度 事業計画（訪問看護ステーション）

施設名 昭島病院訪問看護ステーション

【地域における施設ミッション】

利用者が、慣れ親しんだ地域や家庭で、安心して療養生活を送れるよう看護師が訪問し、看護ケアを提供します。

【重点項目】

◆ 目標1日平均訪問回数

R02(2020)年度実績	R03(2021)年度実績	R04(2022)年度見込	R05(2023)年度目標
12.3回	12.2回	12.3回	15.0回

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・高齢者の多様な生活状況に寄り添い安心して在宅生活が送れるよう、24時間体制で患者のニーズに対応します。
- ・昭島病院総合支援センターと密に連携し、入院から在宅、在宅から入院へのスムーズな対応と調整に努めます。
- ・ICTツールを活用し、他職種間での情報共有に努め、統一したケアを提供します。
- ・リスクマネジメントの観点から、感染症・災害対策に関するBCPの随時見直しを行い、利用者の安全・安心を守ります。
- ・感染予防対策の徹底を継続し、安定したサービス提供に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域包括ケアシステムの一事業所として、病院、昭和郷施設及び近隣事業所と協力し多職種連携で地域を支える関係を作ります。
- ・居宅系施設及び事業所との委託契約による訪問看護を継続するとともに、介護職員が安心してケアに従事できるよう、連携強化に努めます。

◆ 看護人材の育成と職場環境の整備

- ・各々のキャリアアップの取組みを推進し、研修に積極的に参加する事で、専門的知識を高めます。
- ・院内研修やリモート研修を活用し、ケア統一を図ります。
- ・ICTツールを活用し、業務の効率化を図ります。
- ・ワークライフバランスの推進に取り組み、働きやすい職場作りを目指します。
- ・感染対策に努め、安心して働ける職場環境を作ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・利用率向上に意識を持ち、1日の訪問回数15回を目指します。
- ・収支・コスト意識を職員間で共有し、安定した運営に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

6. 収益事業の経営

収益事業の売上げは本会の社会福祉事業の経営に充てられます。社会福祉の充実に貢献します。

1. オフセット・活版印刷事業

事業所名 事業局

【ミッション】

顧客から必要とされ、信頼される事業者になるべきサービス強化と情報発信に努めます。顧客の様々な要望に応えられる体制と作業手順を確立します。

【行動指針】

- 1 常に作業環境を意識し、健康管理を怠らず安全・安心な職場環境を継続します。
- 2 次につながる仕事を心掛け、事業継続を意識した行動力を養います。
- 3 ワンストップサービスと防犯体制や情報セキュリティ対策を営業活動に活かします。

【重点項目】

◆ 人材の育成と職場環境の整備

・次の作業工程を考えた行動力を養います。
・職員同士のコミュニケーションを促し活気のある職場環境を構築します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・新規顧客からの複数回受注で信用と実績を積み重ね、大型案件の受注に努めます。
・作業の効率化をさらに進め、収益率向上に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
計数機	2,000						
購入等合計	2,000	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2. 不動産賃貸に関する事業

- 1 富士見町駐車場 / 東村山市富士見町2-7-14
旧サンホーム跡地を活用し、駐車場を経営します。
- 2 原町ホーム土地賃貸業 / 新宿区原町3-8(原町ホーム敷地)
原町ホームの外構の一部を、隣接マンションの緑地帯として有償貸与します。
車2台分の空きスペースを、時間貸駐車場として有効に活用します。
- 3 昭島病院駐車場 / 昭島市中神町1260
昭島病院敷地内で、来院者用駐車場を経営します。
- 4 Premier Court南青山 / 港区南青山1-17-8
旧サンライズ青山跡地を活用した集合住宅を経営します。(サブリース)

7. 社会貢献事業

地域の福祉ニーズに応えるため、本会の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動を行います。

事業名／内容	事業の実施場所																
学習支援 昭島市社会福祉協議会と連携し、市内の生活困窮家庭の子どもの学習支援及び食事の提供を行います。 回数 日曜日 13時～15時(月2～3回) 対象 小学4年生～中学3年生 定員 10名 講師 職員、学生等(ボランティア) 運営 母子生活支援施設・児童養護施設・婦人保護施設	昭和郷高齢者施設 さくらホール																
地域見守り事業 配食事業とともに、地域ニーズに沿った交流会を実施します。(月～金 昼夜15件/日)	サンホーム																
地域交流事業 介護予防教室、栄養教室、ランチ交流会等を実施します。また「福祉避難所」として、炊き出し訓練を実施します。「健康サロン」では、昭島病院の職員による健康チェック、健康体操等を催し、地域交流の場を提供します。	ニューフジホーム、原町ホーム、ゆたか苑 昭和郷高齢者複合施設 さくらホール																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な活動</th> <th>主な会場</th> <th>開催</th> <th>参加予定 (年間延人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症カフェ (華道・書道・手芸・イベント等)</td> <td>昭和郷高齢者複合施設 さくらホール 原町高齢者複合施設 地域交流室</td> <td>第2土曜 毎週木曜</td> <td>480 720</td> </tr> <tr> <td>ランチ交流会</td> <td>ゆたか苑</td> <td>不定期</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>健康サロン(健康チェック・講演等)</td> <td>昭和郷高齢者複合施設 さくらホール</td> <td>不定期</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	主な活動	主な会場	開催	参加予定 (年間延人数)	認知症カフェ (華道・書道・手芸・イベント等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール 原町高齢者複合施設 地域交流室	第2土曜 毎週木曜	480 720	ランチ交流会	ゆたか苑	不定期	60	健康サロン(健康チェック・講演等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール	不定期	—
主な活動	主な会場	開催	参加予定 (年間延人数)														
認知症カフェ (華道・書道・手芸・イベント等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール 原町高齢者複合施設 地域交流室	第2土曜 毎週木曜	480 720														
ランチ交流会	ゆたか苑	不定期	60														
健康サロン(健康チェック・講演等)	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール	不定期	—														
利用者負担軽減 低所得者の利用料の負担を軽減します。	フジホーム、ニューフジホーム、原町ホーム、ゆたか苑、ひかり苑、昭島病院																
なんでも相談事業 豊島区社会福祉協議会を中心に、参加する社会福祉法人により障害者の相談事業を実施します。	さくらんぼ																
地域の子育て相談事業 育児相談「子育て仲間づくり・くじらっこ」、「児童館出前講座」を実施します。	昭島市児童センターぱれっと、各保育所																
防災拠点 ・防災弱者に対する災害時の一時滞在所機能を果たします。 ・地域の防災活動の中心として、防災拠点型地域交流スペースを開放し、各種講演会及び合同防災訓練を実施します。	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール、同援はいじま保育園																

* その他、各事業所において施設機能を活かした各種相談事業や講習会等を実施します。

* SDGs活動への取組みを検討します。

8. 人材育成事業

事業内容	介護職員初任者研修(通信)
目的	介護の現場で働き始めて間もない方、またこれから介護の分野に携わろうとする方に向けて、介護の基礎的な知識・技術を習得する場を提供し、介護福祉士を目指す人材の育成を目的としています。
対象	介護の業務に従事しようとする方(職員含む)
期間	2023年9月～12月
内容	自宅学習 26時間 / 面接指導 104時間(17日間)
施設実習	14時間(介護実習 8時間 / 在宅サービス提供現場見学 6時間)
定員	12名
主な会場	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール

Ⅲ 職員福利厚生制度ならびに職員研修制度

本年度の職員福利厚生事業、職員研修は、下記により実施します。

1. 永年勤続者表彰

10年勤続、20年勤続及び30年勤続職員の表彰します。

定年退職者表彰

定年退職前勤続10年以上の職員の表彰します。

2. 人間ドック健診の実施

就業規則第2条第2項に規定した職員が、40歳、50歳及び60歳になる年度に人間ドックを受診する際、その費用を助成します。

婦人科検診の実施

女性職員(社会保険加入)が婦人科検診を受診する際、その費用を助成します。

3. 福利厚生センター事業の利用

社会福祉法人福利厚生センターの福利厚生事業(ソウェルクラブ)に加入し、職員の福利厚生の向上を図ります。

4. 職員のメンタルヘルスケアへの取組み

EPA(従業員支援プログラム)に加入し、職員ならびに家族(同居)、退職者、復職者への支援カウンセリング等を行います。

また、職員のストレスチェックを実施します。

5. 待機児童の一時保育室の利用

定員	5名
場所	昭和郷第二保育園 保育室「にほにこ」

職員の子ども(待機児童)を預かり、一時保育を行います。

6. 企業型「選択制」確定拠出年金制度の加入促進

職員の将来に向けた資産形成をサポートする福利厚生制度を職員へ周知し、加入を促進します。

7. 法人研修計画

研修名／内容	対象	時期
階層別「考課者マネジメント研修」 人事評価制度の運用力を高め成果につなげます。 ・人と組織を成長させるマネジメントシステムは、人間力・組織力・関係力であることを理解する	人事考課者及び人事考課者に準ずる職員	偶数月(3H)
課題別「メンタルトレーニング研修」 新規採用職員及び未受講者		4月(3H)
課題別「メンタルトレーニングフォローアップ研修」 スポーツドクターによる独自の「FLOW理論」を学び、自己のパフォーマンスを最大限に発揮します。 ・応用スポーツ心理学とフローライフスキルの基礎を理解する。日常生活や業務での実践を経て振り返る	過去の受講者(1～3級職員)	10、1月(3H)
階層別「基礎研修」 自分の職場における役割の認識と、業務を円滑に進めるコミュニケーションスキルの向上を図ります。 ・自分と他者がどのような認知・認識(バイアス)を持っているかを理解する ・より良い協働関係を築くため自己理解と他者理解を促進する	原則 1級職員(非常勤職員含む)	5月(6H)
階層別「上級研修」 3回シリーズ チーム内の職員をフォローし、管理者の意向をチームに浸透させるなど、管理者を補佐する能力を取得します。 ・本会・施設の理念と目標を実現するため、必要な環境整備や役割認識を身につける ・リーダー力を発揮するための「7つの役割」を習得する	3級職員(主任・副主任／非常勤職員含む)	5～12月(6H)
階層別「中堅研修」 新人・後輩への業務の指導、チームリーダーの補佐ができるよう、必要な資格を取得します。 ・職場における業務を円滑に進めるための視点啓発とスキルを向上する ・中堅職員への期待・役割を明示化し、円滑な業務遂行を図る	原則 2級職員(非常勤職員含む)	6月(6H)
課題別「施設マネジメント研修」 ハラスメント予防・リスクマネジメント・人材育成を学び、ガバナンス・コンプライアンスを理解します。 ・自身の業務及び職場や施設全体に関わる、個人と組織の育成手法を習得する ・状況、問題への感受性を啓発し、個別人材育成を通じて組織マネジメントにつなげる	原則 2～3級職員(非常勤職員含む)	7月(6H)
課題別「プレゼンテーション能力向上研修」 様々な発言の場(報連相・会議・発表等)におけるコミュニケーションスキルの向上を図ります。 ・相手に共感・納得感を与え、惹きつけられるコミュニケーションスキルを習得する ・自身のプレゼンテーションスキルの課題を自覚し、具体的な話法の改善につなげる	原則 1級職員(非常勤職員含む)	9月(6H)
課題別「片付け研修」 整理・整頓を実践する(身に着ける)ことにより、職場環境や仕事習慣の向上を図ります。 ・業務の無駄な時間に気づき削減することで、生産性の向上(コストパフォーマンス)を図る ・見えないコストであるタイムロス無くし、職場環境を改善して仕事力を活性化する	全職員(非常勤職員含む)	11月(3H)

研修名／内容	対象	時期
「管理職候補者研修」	2020・2022年度管理職試験に合格した職員	5、11月
<p>2020年度管理職試験合格者は3年目、2022年度合格者は1年目の研修として、経営者に求められる知識（人事管理・経営管理）について学びます。</p> <p>この研修を通じて施設経営に関する実践的ノウハウを学び、管理職昇任に備えます。</p>		
階層別「新任フォローアップ研修」	2023年度の新卒採用職員	10月（6H）
<p>6か月間の職場実践を振り返り、変革時代のビジネスパーソンに求められることを再認識し、次の目標へ向けてステップアップを図ります。</p>		
「海外派遣研修」	副主任以上の職員（2名程度）	調整中
<p>新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、海外の情報を収集して実施を検討します。</p>		
「新規採用プレ研修」	2024年度の新規採用予定者	1月
<p>本会の理念と特色及び社会人としての基本的なマナーを学びます。</p>		
階層別「新任研修」	新卒採用職員及び正規転換職員	3月（3日間）
<p>社会人として自覚と責任を持って質の高い仕事をするため本会の理念を学び、ビジネスマナーや仕事の進め方（報告・連絡・相談等）について理解を深めます。また本会の諸規程を理解し各種の届出等の具体的な手続きなどを学びます。</p> <p>法務省矯正研究所の見学を通して、刑余者と福祉サービスが重要な関係にあることを理解します。</p>		
「庶務担当研修」 対面／オンライン併用	庶務担当職員	随時
<p>法令や制度改正及び、年末調整等の事務処理の理解を深め、法令遵守につなげます。</p>		
「経理担当研修」 対面／オンライン併用	経理担当職員	随時
<p>経理事務の理解を深め、効果的かつ適正な施設経営のフォローにつなげます。</p> <p>規程や関係通知に基づく正確な経理事務及び業種別の月次や決算の実務を学びます。</p>		

グループ別研修計画

グループ別に、年3～4回ほど、各テーマを定め専門的な課題の研修を実施します。また、グループ内だけでなく、他業種、他施設での研修を通して、連携を必要とされている異業種に関する理解を深めるとともに、職員の視野を広げ、その資質の向上を図る目的で、各グループ間交流の研修会も実施します。

・高齢者支援系

研修名／内容	対象	時期
「新任職員研修(フレッシュマン研修)」 利用者にとって望ましい介護とは何か、現場から説き起こす介護の実務と倫理を学びます。	新任介護職員	5月
「中堅職員研修」 質の高い人材、質の高い介護を目指して認知症ケア等の介護技術研修を行い、介護職員のスキルアップを図ります。	現任介護職員	12月
「介護職員初任者研修」 本会の職員が講師となり、地域貢献の一環として、広く地域の介護人材を養成します。	地域住民／無資格介護職員	9～12月
「現任職員研修」 外部講師によりケアの向上に資するようなテーマで講義を行い、実際のケアの振り返りを通してその向上を図ります。	全職員	12月
「新任職員フォローアップ研修」 1年間の振り返りを行い、今後の目標を定めます。	新任介護職員	1月
「施設間交換研修」 本会の他の施設の取組みを学ぶ中で、職員の資質向上およびモチベーションアップを図ります。	全職員	随時
「他法人交換研修」 他法人での介護業務を経験することで、自施設のケアの向上に寄与するような学びを得ます。	全職員	随時

・障害者支援系

研修名／内容	対象	時期
「新任職員研修」 基本的な接遇マナーを学び、ビジネスマナー、コミュニケーション技法を習得します。 グループ内の各施設を見学して事業を理解し、本会の組織の一員としての自覚を養います。	新任支援職員	7～11月
「全体職員研修」 リモート研修を活用しながら、専門的知識の学びの機会を増やし、利用者支援の向上を図ります。 各事業所が同じ研修を受講することで、連帯感とともに職員の資質の向上を図ります。	全職員	10～11月
「中堅職員研修」 本会及び他法人の、特色ある事業を展開している施設を見学し、自施設でのリーダーシップを発揮した取組みへと反映します。	リーダー層の職員	随時
「施設間人事交流研修」 本会または他法人での研修を通じて、職員の資質向上と人材育成に努めます。 特に中堅職員を中心に、今後の基幹職員の育成の機会とします。	中堅層の職員	随時

・保育支援系

研修名／内容	対象	時期
「保育園におけるリスクマネジメントについて」	新任職員及び若年層職員	4月
職員一人ひとりの危機管理についての意識が高められるようにするとともに、保育園における基本的なリスクマネジメントについて学びます。		
「WARAリズム@研修」	乳児クラス担当職員	6月
赤ちゃんの運動機能が遊びながら発達することを学び、知識と実技を日々の保育に取り入れることで、職員のスキルアップと子どもたちの成長へつなげます。		
「保護者支援研修」	全職員	7月
保護者の気持ちに寄り添ったコミュニケーションや関わりを学び、より良い支援につなげます。		
「職員交流研修」	全職員	随時
職員の階層や様々なグループ間で交流の機会を持ち、他園の取組み等を知ることで、職員の資質向上とモチベーションアップを図ります。		
「職員交換保育」	全職員	随時
保育グループ内の他園の見学または交換保育を行い、他園の環境や取組みについて学びながら、自施設の保育や業務に活かしていきます。		

・児童・女性支援系

研修名／内容	対象	時期
「ハラスメント研修」	全職員	5月
本会のハラスメントに関する基本姿勢を学ぶことで、職場風土の醸成と組織力向上につなげます。		
「虐待防止研修」	全職員	7月
社会的擁護に携わる職員として虐待防止について理解し、アタッチメントから見た虐待と施設擁護のあり方を考えます。		
「支援力向上研修」	新任職員及び若年層職員	12月
利用者の本質を見定める支援方法は見立てから導き出されることを踏まえ、スキルの習得を図ります。		
「性の知識を科学的に学ぶ」	全職員	12月
科学的見地から性の知識を学び、施設内で起こり得る問題への対応力を身に付けます。		

IV 評議員会及び理事会

定款の定めに従い、下記の評議員会、理事会を開催します。

1. 評議員会

開催予定	主要議案
2023年 6月	(定時評議員会) 前年度事業報告、決算報告承認／社会福祉充実計画承認
2023年 10月	補正予算承認
2024年 2月	最終補正予算承認
2024年 3月	次年度事業計画、当初予算承認
臨時開催	事業運営の必要に応じて開催

2. 理事会

開催予定	主要議案
2023年 6月	前年度事業報告、決算報告承認／社会福祉充実計画承認
2023年 10月	補正予算承認
2024年 2月	施設長等人事／最終補正予算承認
2024年 3月	次年度事業計画、当初予算承認
臨時開催	事業運営の必要に応じて開催

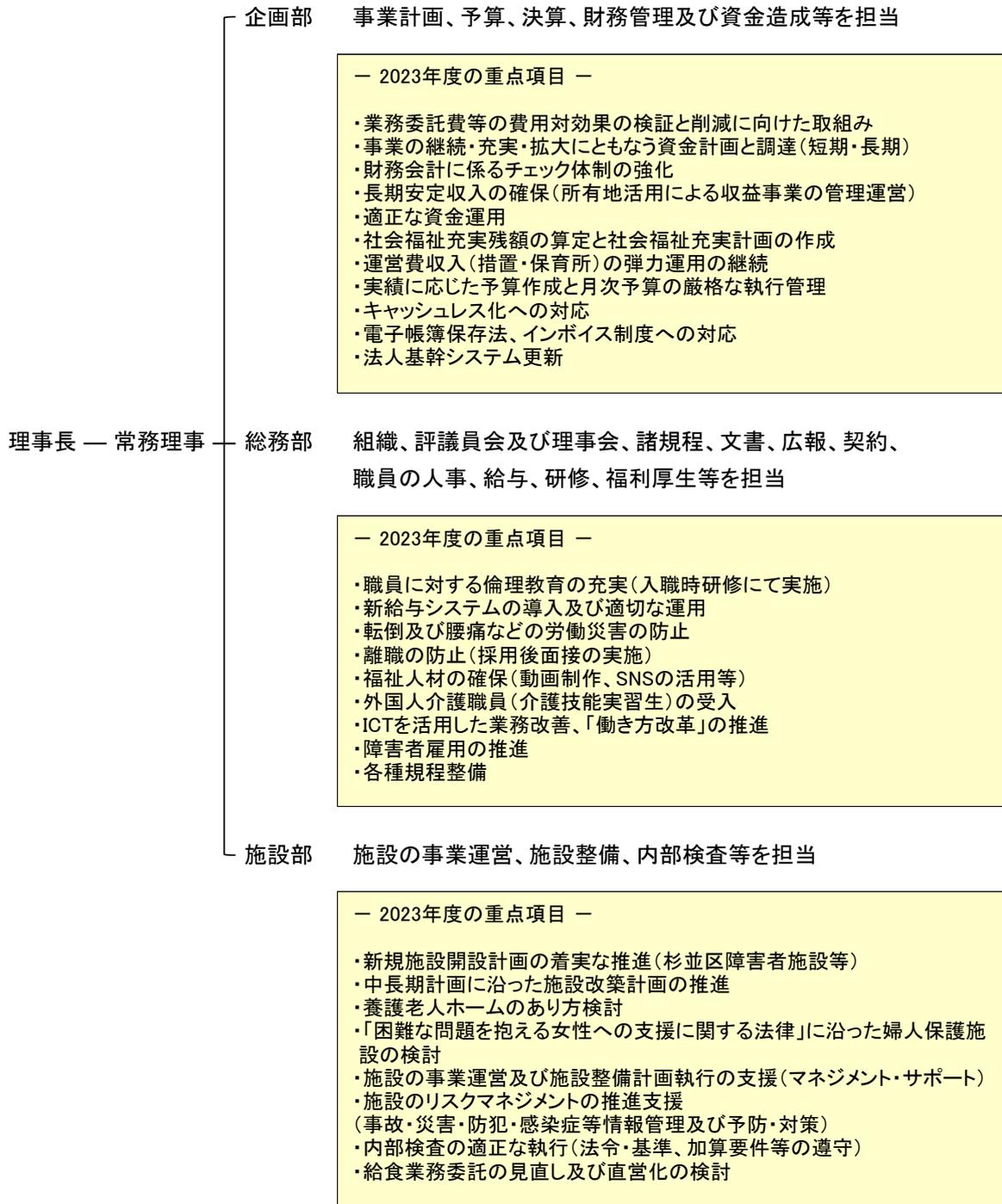
3. 評議員・監事・理事 (2023年4月1日現在)

評 議 員	五十嵐力平	本山美八郎	川向 良和	堀 茂
	岡橋 生幸	飯村 史恵	田中 康道	吉村 晴美
	細谷 訓之	七島 晴仁		
監 事	鈴木 道生	根本 昌廣		
理 事 長	飯山 幸雄			
常 務 理 事	中島 昭			
理 事	宮崎 牧子	小林 一己	品川 卓正	菅原 眞廣
	西村 七重	上原 淳	荒井 隆夫	

V 事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、本会全体に関わる各種業務の円滑な執行を図ります。

1. 組織（2023年4月1日現在）



2. 内部検査

施設、事業所の運営について、経理規程の定めるところを中心とした、事業全般にわたる内部検査を行います。

VI 施設長会及び各種委員会

本会組織規程に基づき、施設長会及び下記の委員会を設け、それぞれの運営要綱の定めにより、理事長の諮問に答え、あるいは理事長へ意見具申することにより、本会の事業の適正な経営に資するものとします。

1. 施設長会

本会の事業全般にわたる事項について、情報交換し、意見を述べ、事業の実現に向けた協力並びに活動を行い、本会の事業の推進の中核的役割を果たします。

- － 2023年度の重点項目 －
- ・2023年度の法人全体の運営状況を共有し、透明性の高い組織体制を構築します。
- ・各拠点事業所間の連携強化を図り、ポストコロナを見据えた安定した組織づくりを行います。
- ・新型コロナウイルス感染症対策等、事業継続に必要なあらゆるリスク管理に努めます。

2. 総合企画委員会

本会の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議し、理事長に意見具申します。

- － 2023年度の重点項目 －
- ・第2期中長期計画に沿って事業を展開するとともに、2023年度における実行可能性と継続性を高め、法人経営の自立性や自主性のさらなる向上を目指します。
- ・効果的かつ適正に事業を継続するため、2023年度事業の計画的な進行管理を行います。
- ・中長期計画(2018～2027年)における第3期計画(2024～)に着手します。

3. 人事委員会

施設の幹部職員の任用・降格、職員の表彰・懲戒、採用、人材育成等、人事に関する必要事項について審議します。

- － 2023年度の重点項目 －
- ・隔年に行う管理職試験により選ばれた候補者を対象とした研修を行うことで法人や施設運営を担う人材を育成します。
- ・法人内研究発表や施設、法人に貢献した職員の表彰について協議します。
- ・懲戒処分の基準を整備します。
- ・倫理教育を行うとともに規程や規則に違反した職員の処分を行います。

4. 規程整備委員会

本会の組織、人事・給与及びその他諸制度に関する規程について、検討し整備を行います。

- － 2023年度の重点項目 －
- ・未整備の規程を検討します。
- ・定年65歳へ向けた準備を行います。
- ・正規職員と臨時職員の待遇を明確化し、同一労働・同一賃金を目指します。

5. 人事考課評価委員会

職員人事考課規程に基づき、人事考課に疑義があると判断された場合において、評価が公正かつ的確に行われているかの審査を行います。

6. 研修委員会

施設長、幹部候補職員、中堅職員、事務職員、新任職員等本会の職員の研修に関し、その企画、実施に当たります。

－ 2023年度の重点項目 －

- ・新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、研修の効果をより高めるため、リアル型研修へ移行します。
- ・本会のキャリアパスに連動した「研修デザイン」の再構築により、職員の資質向上を図ります。
- ・上級研修は反転学習により、法人・施設の理念と目標を実現するため、役割認識とリーダーシップを習得します。
- ・PDCAに則った学習サイクルを、自己存在感とモチベーションの向上と、組織への帰属意識の強化につなげます。

7. 広報委員会

「同援だより」発行、本会のホームページの更新等本会の広報活動に関し、その企画及び実施にあたります。

－ 2023年度の重点項目 －

- ・風通しの良い法人を広く広報できるように、「同援だより」の発行、その他広報活動を行います。
- ・「同援だより」は、ニューフェイス号、盛夏号、秋季号、新春号の年4回発行します。
- ・本会の事業や魅力を東京都をはじめ地域自治体や学校関係者、各関係団体、後援会会員、利用者等に広く紹介します。また全職員へ配布し、本会の多岐に渡る事業について相互理解の促進に寄与します。

8. リスクマネジメント委員会

防災・減災、システムの安全管理の他、施設の経営管理上、多角的な視点でリスクを特定し、損失の回避、低減を図るための対策を講じ、啓発や対策指針案の策定を行います。

－ 2023年度の重点項目 －

- ・様々なリスク(災害、事故、感染症、違法行為)を集約・整理し、組織としての方向性・具体的対策について検討するとともに、各事業所における危機管理意識を高め、リスクマネジメント機能の強化を図ります。
- ・各事業所で作成している事業継続計画(BCP)の共有及び更新を行います。
- ・各グループからの提案や検討課題を適宜取り上げ、潜在的なリスクの早期発見、予防解決につなげていきます。

9. 情報システム委員会(リスクマネジメント委員会)

情報システムの適切な運用に関する推進を行います。

－ 2023年度の重点項目 －

- ・社会福祉におけるサービスの生産性向上に向け、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に取り組みます。
- ・業務効率を考慮し、オンラインやリモートでのコミュニケーションを推進するためにMicrosoft365を活用します。
- ・電子申請や電子帳簿保存法に則った文書の保存によりペーパーレスを推進します。
- ・全ての基幹システムとセキュリティ機器を更改し安全な情報管理を行います。
- ・サイバーセキュリティリスクを経営リスクと捉え、事故発生を想定した「ITリスクに対応したBCP」に取り組みます。
- ・情報セキュリティのリスクを適切に管理するため、ITコーディネータ及び専門業者との連携を強化します。

10. その他

上記の他、必要に応じ委員会等を設け、本会の事業の適正な経営に資します。